

參考資料

I. アンケート調査結果

1. 調査票

保健福祉総合計画策定のためのアンケート調査 調査票

はじめに、あなた自身のことについてうかがいます

問1 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|---------|---------|----------|---------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳代 |
| 7. 70歳代 | 8. 80歳代 | 9. 90歳以上 | | | |

問2 あなたの性別について、あてはまる方に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたの職業について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------|----------------|-------------------|
| 1. 学生 | 2. 自営業 | 3. 会社員・公務員・団体職員など |
| 4. 派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイトなど | | |
| 5. 専業主婦（主夫） | 6. 無職（年金生活を含む） | |
| 7. その他（ ） | | |

問4 あなたが現在同居している家族構成について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|----------------|---------------|
| 1. 単身世帯（1人） | 2. 夫婦だけ（1世代世帯） | 3. 親と子（2世代世帯） |
| 4. 祖父母と親と子（3世代世帯） | | |
| 5. その他（ ） | | |

問5 あなたの身長・体重を記入してください。

身長_____cm 体重_____kg

問6 あなたは、1回30分以上の運動を週に何回していますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 週に6～7日行っている | 2. 週に4～5日行っている |
| 3. 週に2～3日行っている | 4. 週に1日程度行っている |
| 5. ほとんど、まったく行っていない | |

問7 あなたは、普段から歩くことを心がけていますか？あてはまる方に○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問8 あなたは、どれくらいの頻度で健（検）診を受診していますか？8-1～8-6の健（検）診ごとに、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	年1回	2～3年に 1回	4～5年 に1回	ほとんど受けていない、 または受けたことがない
8-1 健康診断※	1.	2.	3.	4.
8-2 胃がん検診（40歳以上の方のみ回答）	1.	2.	3.	4.
8-3 肺がん検診（40歳以上の方のみ回答）	1.	2.	3.	4.
8-4 大腸がん検診（40歳以上の方のみ回答）	1.	2.	3.	4.
8-5 子宮がん検診（20歳以上女性のみ回答）	1.	2.	3.	4.
8-6 乳がん検診（40歳以上女性のみ回答）	1.	2.	3.	4.

※身体測定、血液検査、尿検査、血圧等を主とした健診

問9 あなたは、タバコを吸っていますか？あてはまる方に○をつけてください。

1. 吸っている 2. 吸っていない

問9-2 （問9で「1.吸っている」に○をつけた方にうかがいます）あなたは禁煙に関心がありますか？あてはまる方に○をつけてください。

1. ある 2. ない

問10 あなたは、アルコール類をどのくらいの頻度で飲みますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 毎日飲む 2. 週に4～6日飲む 3. 週に1～3日飲む
4. 月に1～3日飲む 5. 飲まない

問10-2 （問10で1.2.3.4.いずれかに○をつけた方にうかがいます）あなたは、1日どれくらいの量を飲みますか？日本酒に換算し※、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 1合未満 2. 1～2合未満 3. 2～3合未満
4. 3～4合未満 5. 4～5号未満 6. 5合以上

※日本酒1合(180ml)は、ビール中瓶1本(500ml)、焼酎(25度)0.6合(110ml)、ワイン180ml、ウイスキーダブル1杯(60ml)に相当します。

問11 あなたは、いつ歯磨きをしますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 朝食前 2. 朝食後 3. 昼食後 4. 夕食後（寝る前を含む）
5. 1回も磨かないことが多い

問 12 あなたは、どれくらいの頻度で歯科医院での歯科検診を受けていますか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------|-----------|----------|
| 1. 3か月に1回 | 2. 6か月に1回 | 3. 1年に1回 |
| 4. ほとんど受けていないまたは受けたことがない | | |
| 5. その他 () | | |

問 13 あなたは、毎日3食食べますか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. ほとんど毎日食べる | 2. 朝食を抜くことが多い | 3. 昼食を抜くことが多い | 4. 夕食を抜くことが多い |
|--------------|---------------|---------------|---------------|

問 14 あなたは、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが、1日に2回以上ある日が、週に何日ありますか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. ほとんど毎日食べる | 2. 週に4～5日食べる | 3. 週に2～3日食べる |
| 4. 週に1日程度 | 5. ほとんどない | |

※主食（ごはん、パン、麺など）、主菜（肉、魚、卵など）、副菜（野菜、海藻、きのこ類など）

問 15 あなたは、朝食または夕食を家族と一緒に食べる日が、週に何日ありますか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. ほとんど毎日食べる | 2. 週に4～5日食べる | 3. 週に2～3日食べる |
| 4. 週に1日程度 | 5. ほとんどない | |

問 16 あなたは、おやつ・果物・ジュース類をどのくらいの頻度で食べますか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. ほとんど毎日食べる | 2. 週に4～5日食べる | 3. 週に2～3日食べる |
| 4. 週に1日程度 | 5. ほとんどない | |

問 17 あなたが食べている野菜の量は足りていると思いますか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1. 十分食べている | 2. 適量である | 3. 不足している |
|------------|----------|-----------|

※1日当たりの野菜の目標摂取量は350グラム（生の状態で両手に乗るくらい）です。

問 18 あなたは、脂っぽい食事を好んで食べる方ですか？あてはまる方に○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 19 あなたが食べる料理の味付けはいかがですか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 濃い

2. 普通

3. 薄い

問 20 あなたが健康保持のために今後できること、実行してみようと思うことはどんなことですか？
健康づくりに関して日頃思っていることやご意見についてありましたらご記入ください。

問 21 あなたは、普段睡眠が十分とれていると思いますか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 十分とれている

2. まあとれている

3. あまりとれていない

4. まったくとれていない

5. わからない

問 22 あなたは、強いストレスや悩みを抱えたとき、これを解消するために何をしていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 話をきいてもらう

2. 趣味

3. 睡眠

4. 飲酒

5. 買い物

6. 運動

7. やけ食い

8. 運転

9. ギャンブル

10. 何もしていない

11. その他（

）

問 22-2 （問 22 で「1.話を聞いてもらう」に○をつけた方にうかがいます）あなたが、悩みやストレスを感じたときの相談先はどこですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家族

2. 友人

3. 同僚・上司

4. 医療機関

5. 役場・多世代包括支援センター

6. 社会福祉協議会

7. 専門機関の相談窓口

8. いのちの電話などの電話相談

9. SNS など匿名性の高いもの

10. 相談相手はいない

11. その他（

）

問 23 あなたや同居している方に、高齢者や障害などで介護・介助が必要な方がおられますか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 介護・介助は必要ない ⇒ **7 ページの 問 30 にお進みください**

2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

問 23 で 2.あるいは 3.に○をつけた方は、次の設問以降もお答えください。

問 24 介護・介助が必要な方の年齢について、あてはまるものに○をつけてください。（※複数人おられる場合は複数に○をつけてください）

- | | | | | |
|----------|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 10歳未満 | 2. 10歳代 | 3. 20歳代 | 4. 30歳代 | 5. 40歳代 |
| 6. 50歳代 | 7. 60歳代 | 8. 70歳代 | 9. 80歳代 | 10. 90歳以上 |

問 25 介護・介助が必要な方は、以下の手帳や介護認定をお持ちですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|------------|----------------|---------|---------|
| 1. 持っていない | 2. 身体障害者手帳 | 3. 精神障害者保健福祉手帳 | 4. 療育手帳 | 5. 介護認定 |
|-----------|------------|----------------|---------|---------|

問 26 介護・介助が必要な方を、特に中心となって介助してくれる方は誰ですか？介護・介助が必要な方から見た続柄であてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|-----------------|----------|---------|
| 1. 配偶者（夫または妻） | 2. 父母・祖父母 | 3. 子ども・孫 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. その他の親族 | 6. ホームヘルパーなどの職員 | 7. その他（ | ） |

問 27 介護・介助が必要な方が、外出するときに困ることはありますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 道や建物、交通機関がバリアフリー化されていない |
| 2. 障害者用のトイレが少ない・使いにくい |
| 3. 障害者用の駐車場がない・少ない |
| 4. 電車・バスの乗り降りが困難 |
| 5. 交通費の負担が大きい |
| 6. 緊急時など意思の疎通がむずかしい |
| 7. 周りの人からの理解が得られず、偏見や差別がある |
| 8. 出かけたときに介助してくれる人がいない |
| 9. その他（ |
| 10. 特になし |

問 28 介護・介助が必要な方が、これから先も住み慣れた地域で暮らしつづけるためには、どのような支援があればよいと思いますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 在宅で医療ケアなどが適切に得られること
2. 経済的な負担の軽減
3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること
4. 相談支援体制の充実
5. 気軽に利用できる生活支援サービスの充実（住民ボランティアなど）
6. 高齢者・障害者に適した住居の確保
7. 近隣住民等の理解
8. 生活訓練等の充実
9. その他（
10. 特になし

問 29 多世代包括支援センターでは、災害時に特に支援が必要な人を「避難行動要支援者」として名簿を作成し、地域と連携した体制づくりに取り組んでいます。災害が発生したとき、介護・介助が必要な方は、どのような手助け、支援をしてほしいと思いますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家族との連絡
2. 災害の状況や避難などの情報の入手
3. 避難誘導
4. 避難所における障害者の利用に配慮した環境の確保
5. 避難所における医療・介護の確保
6. 精神的な支え
7. その他（
8. 特にない

問 30 からは、全員の方がお答えください

問 30 あなたは、日常生活や職場で困ったり不安を感じ、誰かに相談したいことがありますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 病気や健康、障害のこと
2. 収入・生活費、債務などの金銭的なこと
3. 家族関係、人間関係がうまくいかない
4. 仕事探し、就職について
5. 外出するのに支障がある
6. 住まいについて
7. 子育てに関すること
8. 介護に関すること
9. ひきこもり、不登校
10. お金の管理に不安がある
11. 仕事上の不安やトラブル
12. DV、虐待
13. 地域との関係について
14. その他 ()
15. 特になし

問 31 あなたが日常生活や職場で困った時の相談先はどこですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-------------------|--------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 民生委員・児童委員 | 5. 医療機関やその関係者 | |
| 6. 福祉サービスの職員 | 7. 役場・多世代包括支援センター | |
| 8. 社会福祉協議会 | 9. 専門機関の相談窓口 | 10. 職場や学校関係者 |
| 11. その他 () | | |
| 12. 相談したいができない | | |

問 31-2 (問 31 で「12. 相談したいができない」と回答した方にうかがいます) あなたが、相談したくてもできない理由は何ですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. どこ(だれ)に相談したらよいかわからない
2. 身近なところに相談できる場所がない
3. 夜間や休日などに相談する場所がない
4. プライバシー保護に不安がある
5. 相談しても満足がいく回答がもらえない
6. その他 ()

問 32 佐々町、とくにあなたの御自宅周辺で、あなたが感じる不安や不満はありますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 住民同士の交流機会が少ない | 2. 地区の役員のなり手不足 |
| 3. 治安や防犯対策 | 4. 災害時の協力体制への不安 |
| 5. バスの路線の縮小や便数減少など | 6. 道路や公共的施設のバリアフリー化 |
| 7. 最寄り商店の品揃えや商店までの交通手段 | 8. 独居世帯やひとり親世帯の地域での孤立 |
| 9. 障害者の自立や交流 | 10. 子どもを育てる地域の環境 |
| 11. その他（ | ） |

問 33 あなたは、あなたの周りの学校や仕事場、住んでいる地域において、障害がある方に対する差別や偏見があると思いますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|--------------|----------------|-------|
| 1. ある | 2. ある程度あると思う | 3. あまりあるとは思わない | 4. ない |
|-------|--------------|----------------|-------|

問 33-2 （問 33 で「1. ある」「2. ある程度あると思う」に○を付けた方にうかがいます。）どのような差別や偏見があると思いますか。

--

問 34 あなたは、佐々町が今後、障害がある方のために特に力を入れるべきだと思う施策は何ですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 相談体制や情報提供の充実 |
| 2. 就労の援助や雇用の促進 |
| 3. 障害がある方に配慮したまちづくりの推進（住宅、道路など） |
| 4. 障害者（児）の介助をする家族の会 |
| 5. 障害のある方との交流や差別解消の推進 |
| 6. 早期療育体制の充実 |
| 7. 障害児保育・障害児教育の充実 |
| 8. 学習・文化・スポーツ・レクリエーション活動の充実 |
| 9. 地域住民が障害のある方を支えていく体制づくり |
| 10. NPO などのボランティア活動の促進 |
| 11. その他（ |
| 12. 特に必要ない |

問 35 あなたは成年後見制度があることを知っていますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. すでに成年後見制度を利用している
2. 成年後見制度の内容は知っているが、利用したことはない
3. 成年後見制度という言葉は知っているが、内容は知らない
4. 知らない（はじめて知った）

問 36 「地域福祉」の取り組みとは、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指し、行政や関係機関と地域住民の協働のもと、地域の課題を解決しようとする取り組みのことです。あなたが佐々町の地域福祉で必要だと思われる取り組みはどういった内容でしょうか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 地域での支え合いの仕組みづくり・きっかけづくり
2. 交流できる場所を増やす
3. 情報提供の充実
4. 教育を通じた意識醸成・福祉に関する学びの場の創設
5. 社会福祉協議会の活動の充実
6. 民生委員・児童委員の活動の充実
7. 子どもの居場所づくりなど育児・子育て支援体制の充実
8. 災害時の協力体制の充実
9. 防犯・交通安全対策の充実
10. その他（ ）

問 37 佐々町では、令和2～6年度を計画期間とする「地域福祉計画」策定にあたり、一部今回と同様のアンケートでうかがった皆さんのご意見を踏まえ、下記のような施策に重点的に取り組んで参りました。これらについて、あなたは知っていましたか？知っている施策すべてに○をつけてください。

1. 保健師等が妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目ない支援を行うため「子育て世代支援センター（ぽっかぽか）」を開設したこと
2. 住み慣れた地域で療育を受けられる体制づくりを目指すため、佐々町立診療所に小児発達専門外来を開設したこと。
3. 高齢者宅での掃除や買い物の付添など、低料金で利用できる生活支援ボランティアの活動を、ポイント付与制度を通じて奨励及び支援したこと
4. 既存のタクシー料金助成内容の見直しや有償ボランティアによるマイカーを利用した送迎の開始など、官民連携による移動支援を拡充したこと
5. 窓口をたらい回しにならないよう、地域包括支援センターと健康相談センターを統合し、子育てや介護、生活困窮やひきこもりなど福祉に関する様々な悩みの相談窓口を「多世代包括支援センター」に一本化したこと

問 38 佐々町では、地域の支え合いやボランティア活動による生活支援サービスを推進しています。あなたがもし隣近所の人に手助けしてもらおうとしたら、どんなことをしてほしいですか？ また、隣近所で困っている人がいた場合に、あなたができることは何ですか？ 「手助けしてほしいこと」「手助けできること」のそれぞれのあてはまる数字に○をつけてください。

	手助けしてほしいこと	手助けできること
安否確認の声がけ	1.	2.
話し相手	1.	2.
買い物や通院の付き添い	1.	2.
自家用車での病院や商店などへの送迎	1.	2.
町内会集会所までの送迎	1.	2.
ゴミ出し	1.	2.
玄関前の掃除	1.	2.
簡単な調理	1.	2.
短時間の子どもの預かり	1.	2.
子育ての相談	1.	2.
予防接種の付き添い	1.	2.
保育園・幼稚園の送迎	1.	2.
① その他、地域で困っている方に対してできることがあれば、記入ください。 ()		
② その他、手助けしてもらいたいことがあれば、記入ください。 ()		

問 39 今後あなたが、地域の支え合いやボランティア活動に佐々町の地域福祉の取り組みに参加してみたいと思ったとき、町としては積極的にその後押しをしたいと思っています。下記のなかで皆さんの後押しになれるようなことがありますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

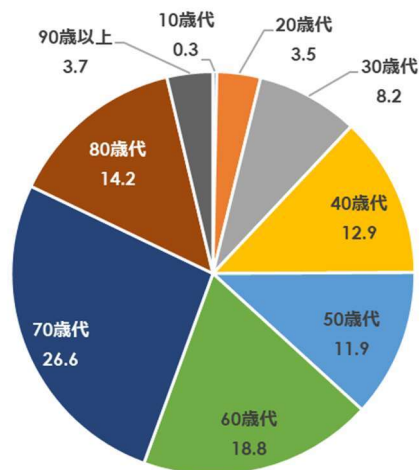
- 初めての人が参加しやすいきっかけづくり
- ボランティア養成講座などによる人材の育成
- ボランティア活動の広報・啓発
- 活動の拠点整備
- ボランティア団体の設立・運営等に対する相談支援
- 活動団体ないし活動に対する表彰
- 活動団体ないし個人に対する資金援助
- 活動に対する報酬（ボランティアポイントなどを含む）
- その他 ()
- 何も必要ない（理由 ()

2. 集計結果

問1 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

高齢者からの回収率が高く、関心の高さが表れている。とくに、現在ボランティアや地区の役員等で活躍している70歳代は1/4以上の回答を得た。

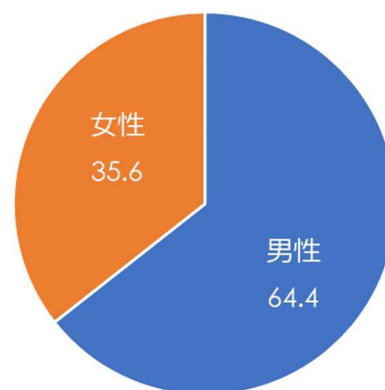
	人数	%
10歳代	7	0.3
20歳代	79	3.5
30歳代	185	8.2
40歳代	292	12.9
50歳代	268	11.9
60歳代	424	18.8
70歳代	600	26.6
80歳代	321	14.2
90歳以上	83	3.7
対象者数	2,259	-



問2 あなたの性別について、あてはまる方に○をつけてください。

回答者の6割以上は、男性である。

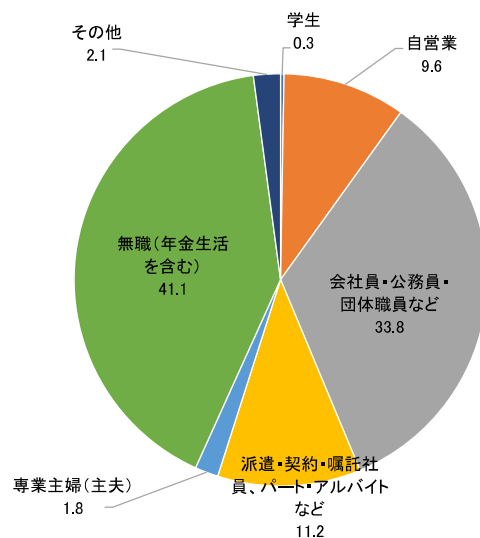
	人数	%
男性	1,456	64.4
女性	805	35.6
対象者数	2,261	-



問3 あなたの職業について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

回答者の約4割は、無職（年金生活を含む）であり、会社員・公務員・団体職員等（約3割）と派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイト等（約1割）通勤者の合計も約4割である。

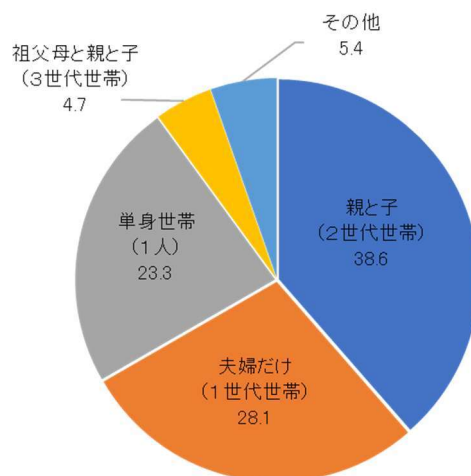
	人数	%
学生	6	0.3
自営業	216	9.6
会社員・公務員・団体職員など	759	33.8
派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイトなど	252	11.2
専業主婦（主夫）	41	1.8
無職（年金生活を含む）	922	41.1
その他	48	2.1
対象者数	2,244	-



問4 あなたが現在同居している家族構成について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

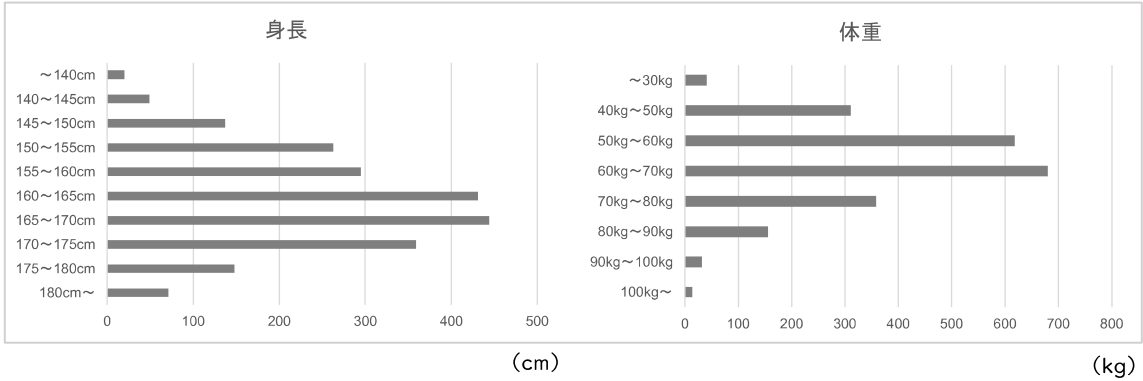
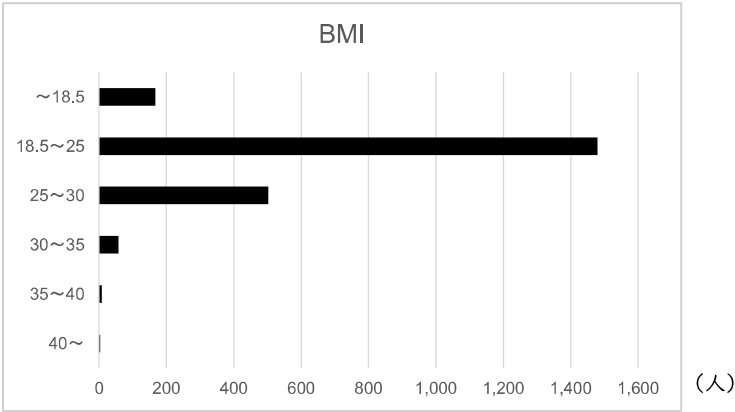
回答者の4割弱は、親と子（2世代世帯）である。次いで夫婦だけ（1世代世帯）が3割弱、単身世帯（1人）も2割強、祖父母と親と子（3世代世帯）は5%弱である。

同居している家族構成	人数	割合(%)
親と子(2世代世帯)	850	38.6
夫婦だけ(1世代世帯)	619	28.1
単身世帯(1人)	513	23.3
祖父母と親と子(3世代世帯)	103	4.7
その他	118	5.4
対象者数	2,203	-



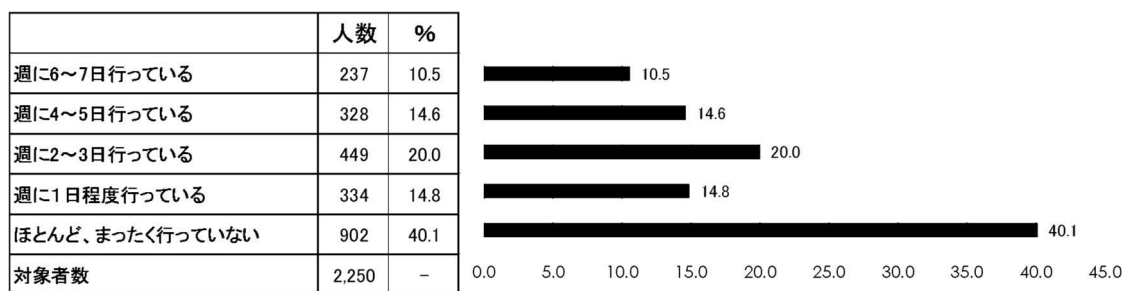
問 5 あなたの身長・体重を記入してください。

回答者の身長（m）と体重（kg）から、BMI（kg/m²）を計算すると、以下の通りである。18.5～25 未満の普通体重が大半を占めるが、25 以上の肥満の者も 25%以上いる。



問 6 あなたは、1 回 30 分以上の運動を週に何回していますか？あてはまるもの
1 つに○をつけてください。

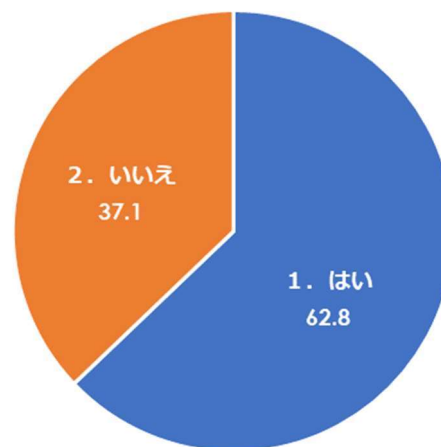
1 日 30 分、週 2 回（合計週 60 分）の運動習慣がある人は、ない人と比べて生活習慣病の発症リスクが低いと言われているが、週に 2 日以上と同運動習慣のある人は、過半数以下（45.1％）である。ほとんど、まったく運動していないと回答した人が、4 割以上であった。



問 7 あなたは、普段から歩くことを心がけていますか？あてはまる方に○をつけて
ください。

約 6 割の回答者は、普段から歩くことを心がけている。

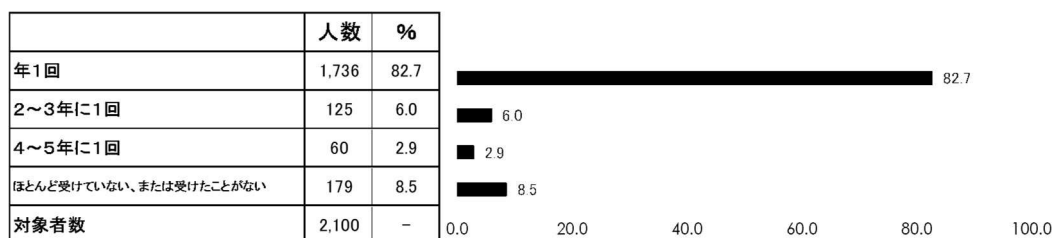
	人数	%
男性	1,409	62.8
女性	832	37.1
対象者数	2,242	—



問 8 あなたは、どれくらいの頻度で健（検）診を受診していますか？健（検）診ごとに、あてはまるもの１つに○をつけてください。

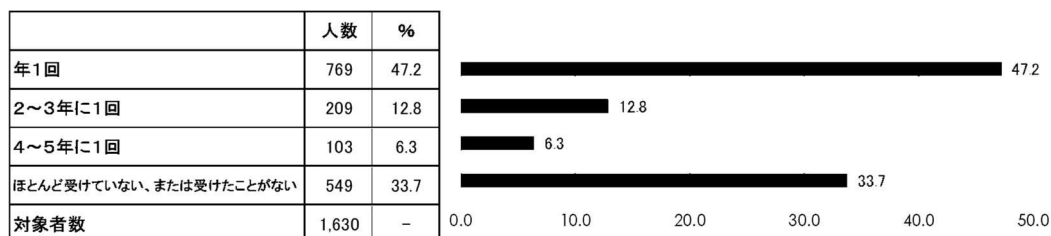
健康診断（身体測定、血液検査、尿検査、血圧等を主とした検診）の受診率は、他の検診よりも高い。ほとんど受けていない、または受けたことがないと回答した人は１割弱である。受診の頻度は約８割が年１回である。

【健康診断】

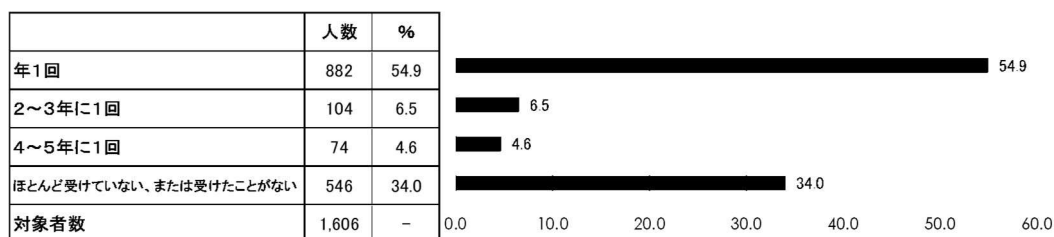


胃・肺・大腸がん検診も、年１回の頻度で受診する人が最も多いが、健康診断に比べると受診率は高くない。しかし、２～３年に１回の頻度で受診する人も加えれば、いずれのがん検診も受診率は過半数を超える。ただ、ほとんど受けていない、または受けたことがないとの回答者も、それぞれ３割以上いる。

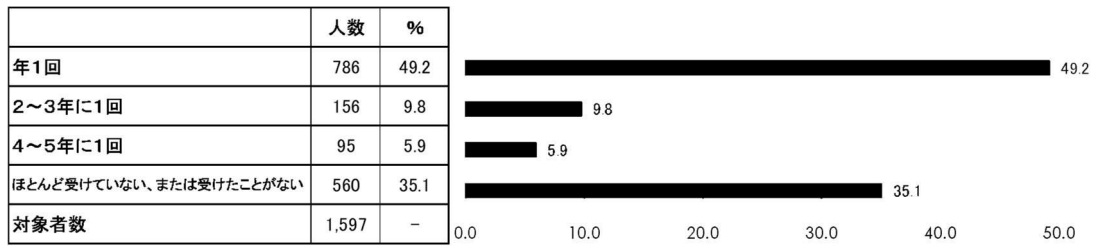
【胃がん検診】



【肺がん検診】

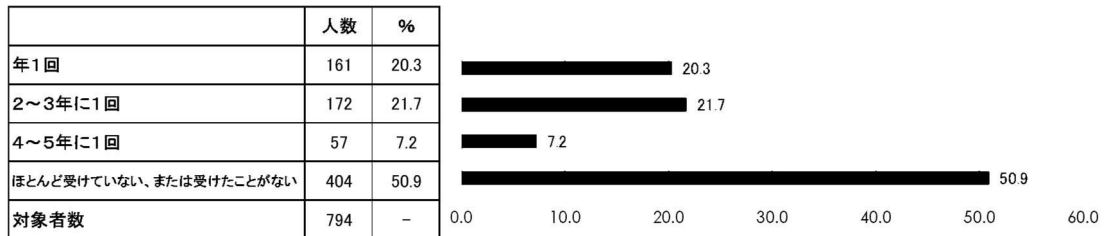


【大腸がん検診】

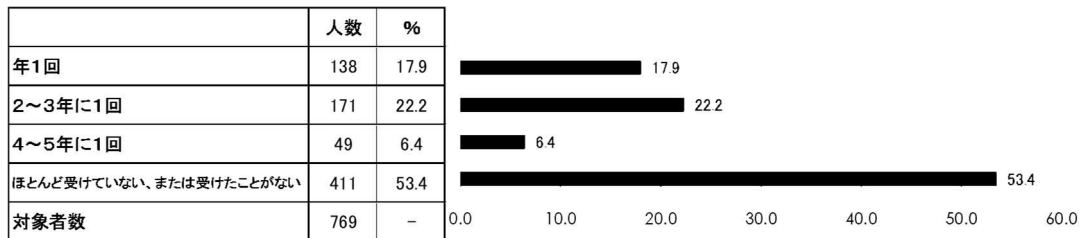


女性にのみ回答を求めた、子宮がんと乳がん検診については、ほとんど受けていない、または受けたことがないとする回答者が過半数を超えている。

【子宮がん検診】



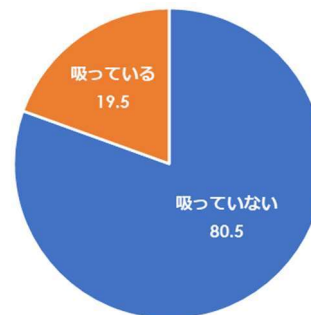
【乳がん検診】



問 9 あなたは、タバコを吸っていますか？あてはまる方に○をつけてください。

喫煙者は、回答者の 2 割弱である。

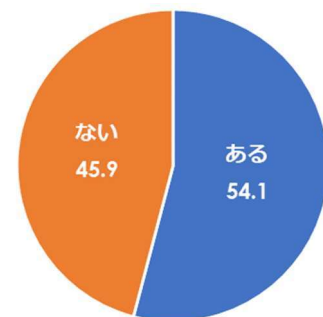
	人数	%
吸っていない	1,785	80.5
吸っている	432	19.5
対象者数	2,217	—



問 9-2 （問 9 で「1.吸っている」に○をつけた方にうかがいます）あなたは禁煙に関心がありますか？あてはまる方に○をつけてください。

喫煙者の過半数は、禁煙に関心があると回答している。

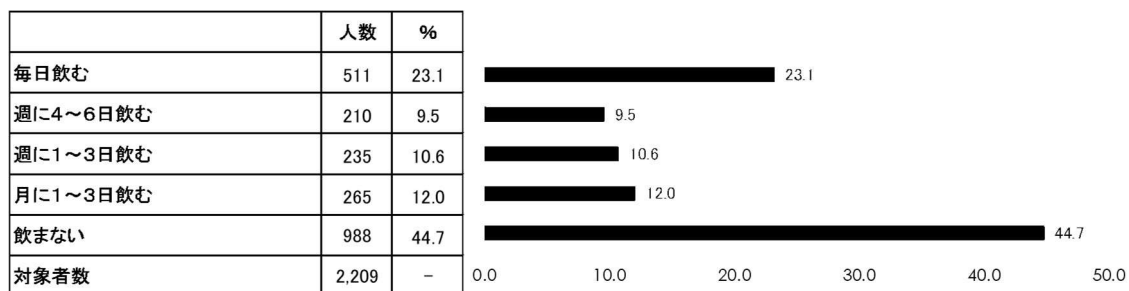
	人数	%
ある	231	54.1
ない	196	45.9
対象者数	427	—



問 10 あなたは、アルコール類をどのくらいの頻度で飲みますか？あてはまるもの

1つに○をつけてください。

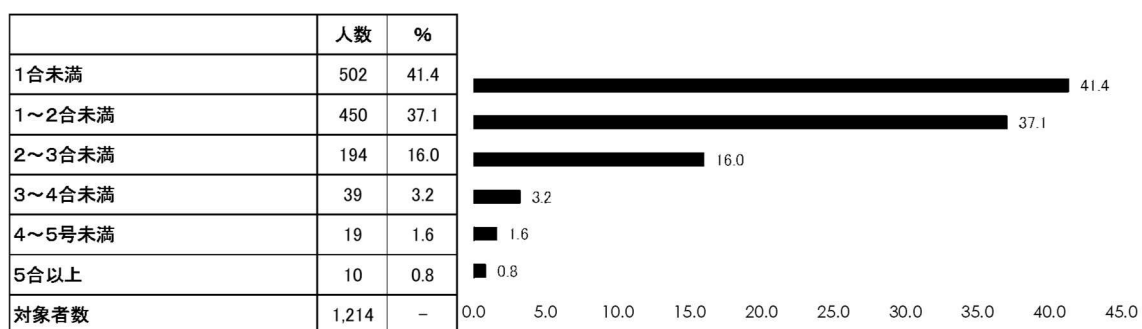
飲酒の習慣が無い回答者は、5割弱。飲酒の頻度は、毎日飲む人が全体の2割、週に4～6日飲む人と合わせると、全体の3割を超える回答者が、週二日の休肝日は取れていないこととなる。



問 10-2 （問 10 で 1.2.3.4.いずれかに○をつけた方にうかがいます）あなたは、

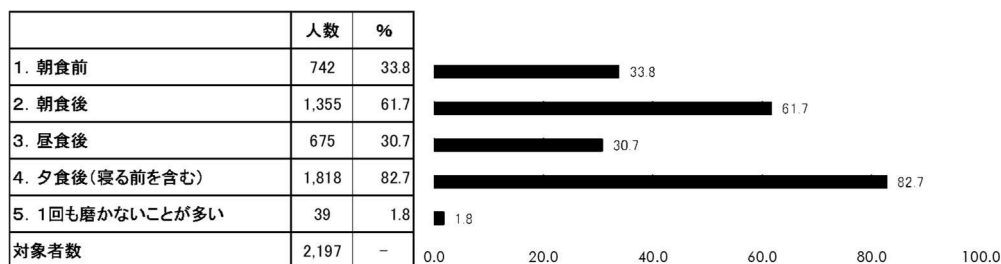
1日どれくらいの量を飲みますか？ 日本酒に換算し、あてはまるもの1つに○をつけてください。

飲酒量は、日本酒換算で1合未満が約4割である。一般的な男性の日本酒の適量は、1日約1合（180ミリリットル）と言われている（厚生労働省が推進する「健康日本21（第2次）」で「節度ある適度な飲酒量」として提示されている、1日平均純アルコール量約20グラムを日本酒に換算した量）。女性の場合は、この1/2～2/3程度（約10～13グラム）が適量とされている。



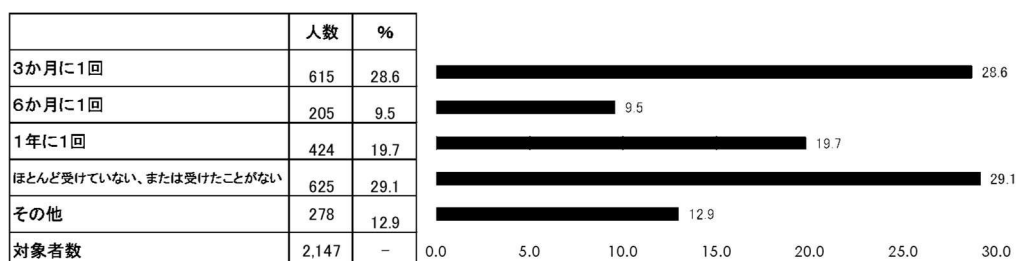
問 11 あなたは、いつ歯磨きをしますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

夕食後（寝る前を含む）に歯磨きする人は、回答者の8割以上である。次いで朝食後の6割、朝食後と夕食後の1日2回歯磨きする回答者が多い。



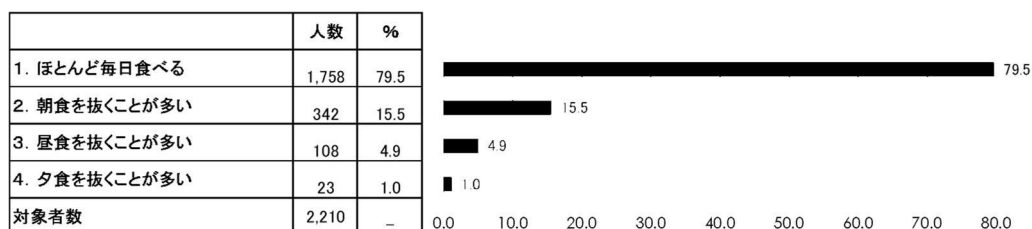
問 12 あなたは、どれくらいの頻度で歯科医院での歯科検診を受けていますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

歯科検診の頻度は、大人で3～6か月に1回とされており、回答者の4割弱は同頻度で健診受診している。しかし、ほとんど受けていない、または受けたことがないとする回答者も3割弱おり、1年に1回の頻度で受診すると回答した人と合わせると、3～6か月に1回受診している人よりも多い。



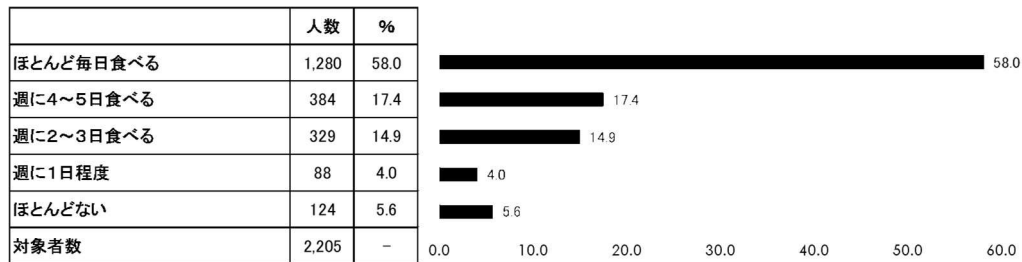
問 13 あなたは、毎日3食食べますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

ほとんど毎日、3食食べる人が約8割にのぼる。一方、朝食を抜くことが多いとする回答者も15.5%いる。



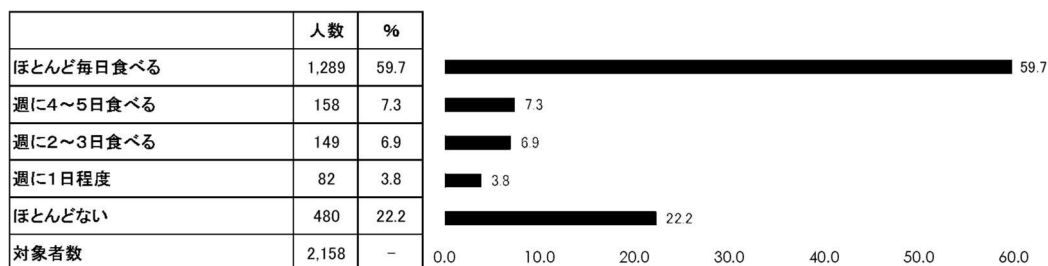
問 14 あなたは、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが、1日に2回以上ある日が、週に何日ありますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

1日に2回以上、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べている回答者が、6割弱いる。週に1日程度あるいは、ほとんどないとする回答者も全体の1割弱いる。



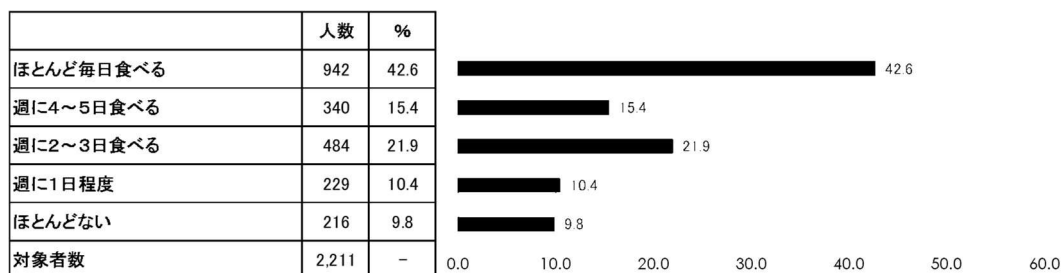
問 15 あなたは、朝食または夕食を家族と一緒に食べる日が、週に何日ありますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

朝食または夕食を、ほとんど毎日家族と一緒に食べると回答した人が全体の6割弱もいる。その一方、一緒に食べる日はほとんどないとする回答者も2割以上いる。



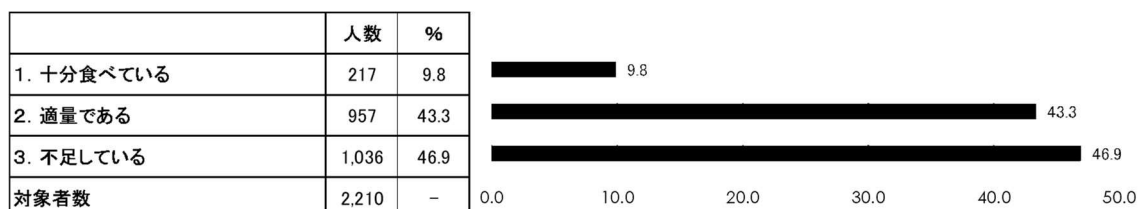
問 16 あなたは、おやつ・果物・ジュース類をどのくらいの頻度で食べますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

おやつ・果物・ジュース類は、ほとんど毎日食べるとする回答者は約4割。



問 17 あなたが食べている野菜の量は足りていると思いますか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

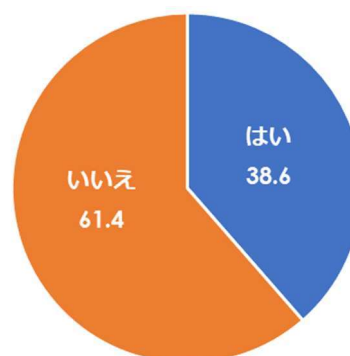
食べている野菜の量が適量あるいは十分食べているとする回答者は、全体の過半数に及ぶ。しかし、5 割弱の回答者は、不足していると回答している。



問 18 あなたは、脂っぽい食事を好んで食べる方ですか？あてはまる方に○をつけてください。

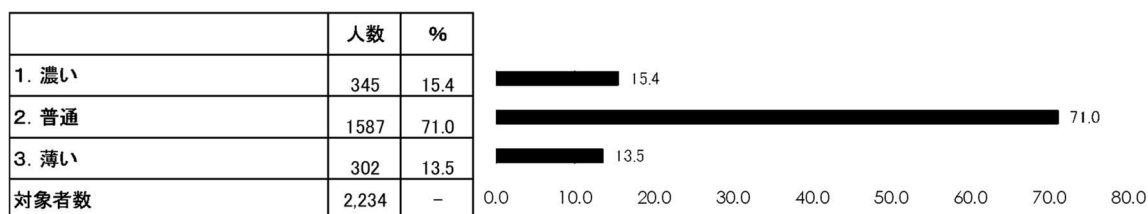
脂っぽい料理を好む回答者は、4 割弱である。

	人数	%
はい	852	38.6
いいえ	1,356	61.4
対象者数	2,208	-



問 19 あなたが食べる料理の味付けはいかがですか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

料理の味付けについては、13～15%は濃いあるいは薄いと回答しているが、回答者全体の7割は普通の味付けであるとしている。



問 20 あなたが健康保持のために今後できること、実行してみようと思うことはどんなことですか？健康づくりに関して日頃思っていることやご意見についてありましたらご記入ください。

- 毎日の規則正しい生活、運動。
- 無理のない生活。働き方を見直す。
- ウォーキング・歩くこと・散歩。ウォーキングコースが整備されると嬉しい。
- 自転車に乗る。軽運動の施設が利用できれば、週に複数回行う。
- ジョギング。花粉や梅雨の時期には、小佐々スポーツセンターのランニングデッキを利用しています。市外者料金となり、少し遠方にもなりますので町内に同様の施設が欲しいです。町内体育館は筋トレが中心の設備で一部マニアが占有している状態で近寄り難くなっています。
- ゴルフ・グラウンドゴルフ、釣り、盆栽
- ジムに通う、歩きたいけど時間がないジムに通うのに補助が出れば嬉しい。町にいつでも、誰でも気軽にスポーツできる施設やクラブがあればいいなと思います。エクササイズ、水泳。岩盤浴。筋トレ等をする体育館使用を中学生以上にしてほしい（一緒に運動できるから（身体づくり））。
- 子育てが落ち着いたら定期的に運動をしたい。子供と一緒に運動する
- サークル（気軽なスポーツ）あったら入りたい。
- 体操（ラジオ体操、百歳体操）、ストレッチ
- 登山・旅行
- 適度な運動・十分な睡眠、早寝早起き。
- 仕事、立っている事が出来るかぎり仕事をする（接客なのできちんとした言葉、又は話し方、身支舞に気を付ける）。家事手伝い他できることをする。他人と関わる。
- 身体は不自由ですが、家事はとても疲れシンドイけれどリハビリだと思って頑張る気持ちでいます！
- 防犯パトロール、町のゴミ拾い。
- 農作業（野菜作り）や軽作業をできる限り続ける。ガーデニング、DIY 等で身体を動かす。趣味である植木作業や畑仕事を行うことで毎日が楽しくて精神的にも喜びがあります。一日の作業を終えて、夕食準備についてスーパーに買い物に行くことも楽しみの一つであります。これが健康づくりに大切だと思います。
- 習い事（習字とか）をして外に出て人と会う機会を持ちたい。人との交流・学び。PC操作でボケ防止。
- 笑顔で過ごせるよう、人との交流でユーモアを混ぜて会話すること。家にとじ込められず人に喜んでもらえる活動をする。子供らの目線で会話ができるよう子供向けの番組やクイズ番組を見る。
- 食事を3度食べる、好き嫌い無く何でも食べることに気をつけて、毎日を大切に生きたい。
- 野菜を摂取する。食事のバランスを心がける（「まごわやさしい」バランスの良い食事）。脂っこいものを控える。薄味にする。調理法によって栄養素が失われてしまったるので調理法も考えている。無農薬。発酵食品。糖質制限。ごはん食。
- 面倒くさがらずに自炊する。間食を減らす。腹八分、暴飲暴食しない。休肝日を作る。
- 夕食時のお水の摂取量を控えて、蛋白質の摂取量を増やし、糖分過多にならない様にしている。また、朝食を食べる週間を維持するようにしている。
- 定期健診を受ける。処方された薬をきちんと飲む。
- サプリを飲む。
- 節酒・禁煙
- 体重管理、食事の記録。ダイエット。
- 日記を毎日書く、脳トレする。
- コロナの影響もあり、外出することもなく面会も禁止されている為、外部、家族との接触もほぼ無い。その為、入居者の方々と

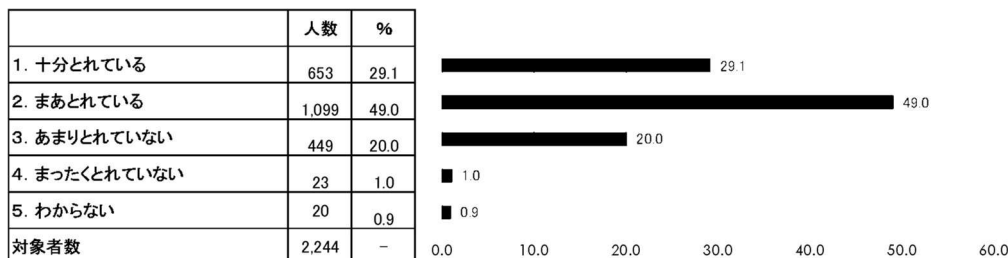
一緒にテレビの前に1日座って過ごす日々で足腰も弱り、認知の方も進んでいるようだ。コロナが終息し、外出・面会が自由になれば散歩、ドライブ、家族との団らん等、刺激を与えリフレッシュさせたい。

- ストレスをためない。ドテラさんのアロマオイルの香りをかいで自律神経を整えたり、

散歩やストレス（仕事）や悩みは、カウンセリングステーションころねさん。ドテラのアロマオイルは皿山公園付近にあるささえいどうさん、どうしても前向きな気持ちになれない時は笑い文字を書いて知人へプレゼントしています。

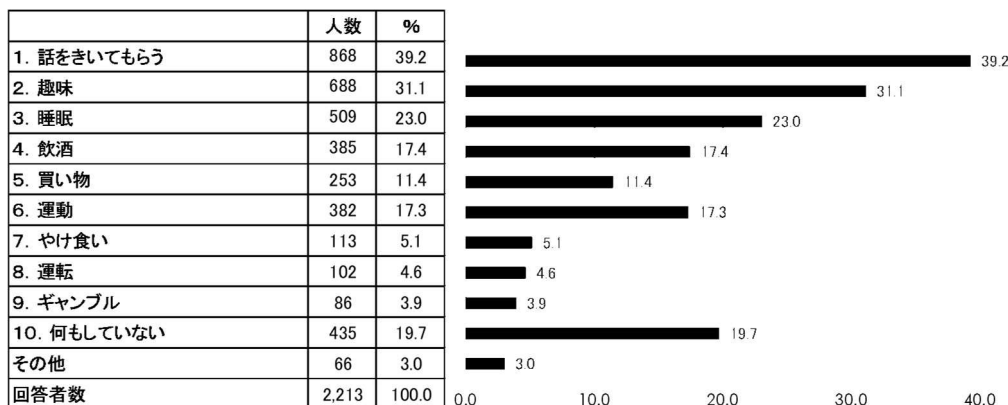
問 21 あなたは、普段睡眠が十分とれていると思いますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

普段の睡眠は、十分あるいはまあとれているとの回答が8割弱に上る。



問 22 あなたは、強いストレスや悩みを抱えたとき、これを解消するために何をしていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

ストレスや悩みを抱えた際の解消法として、話をきいてもらうが4割弱と最も高い。



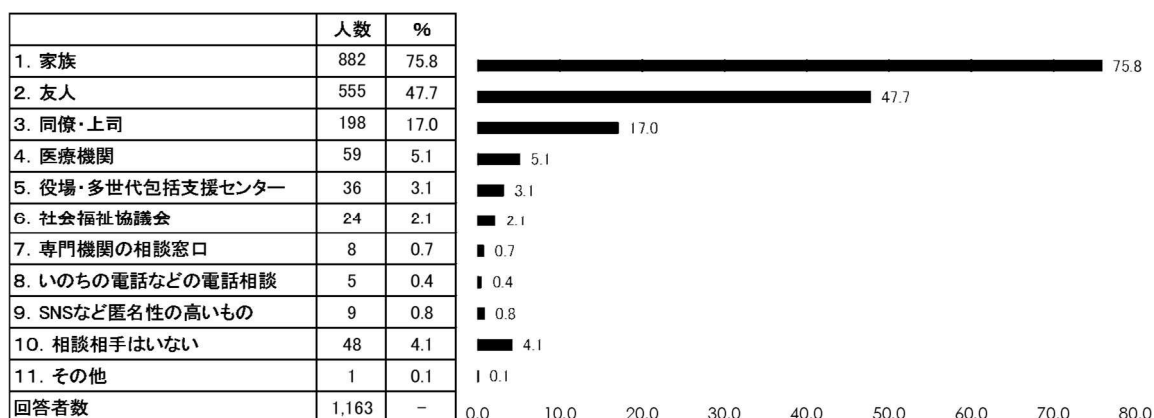
□その他

- 畑の草取り・畑仕事
- 好きな人と一緒に過ごす
- 散歩しながら大声で歌をうたう
- 図書館に行く
- 好きなデザートを食べる
- ゲームをする。動画を見る。
- 旅行などよその場所に出かける
- 外に出てボーっとする
- 夜はもんと自分を責めつづけ死にたいと思います。どうしたらいいのでしょうか。
- 余り考えない様にしている。六十にして耳順う。
- 海を見る

- ストレスを溜めない。ストレスや悩みから逃げようとはしない。向き合って克服する。
- ただひたすら耐える。問題解消に死力を尽くす。
- 心療内科を受診する。

問 22-2 （問 22 で「1.話を聞いてもらう」に○をつけた方にうかがいます）あなたが、悩みやストレスを感じたときの相談先はどこですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

悩みやストレスを感じた時の相談先は、家族そして友人である。

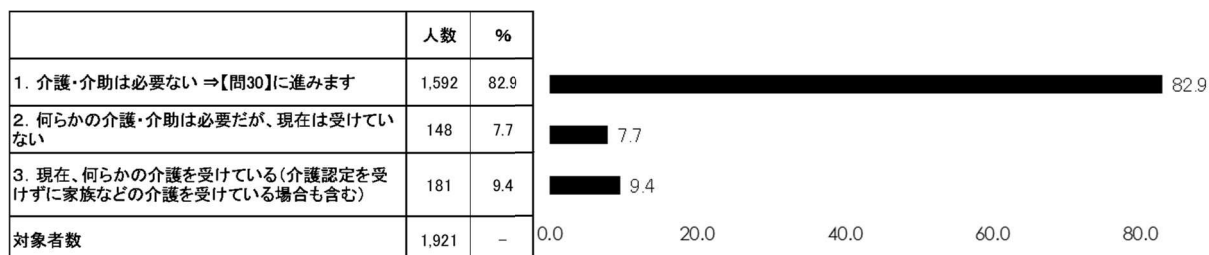


☐ その他

- ヘルパー、保健師（内容によって違う）
- 知人に相談してもわかってもらえず、必ず傷ついて終わる。
- カウンセリングステーションころね様 オススメです。
- ホームのスタッフ等
- 遠方の友人
- 姉妹・兄弟
- 司法・施設の職員
- 自己解決
- 神様
- 親戚、笑福

問 23 あなたや同居している方に、高齢者や障害などで介護・介助が必要な方がおられますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

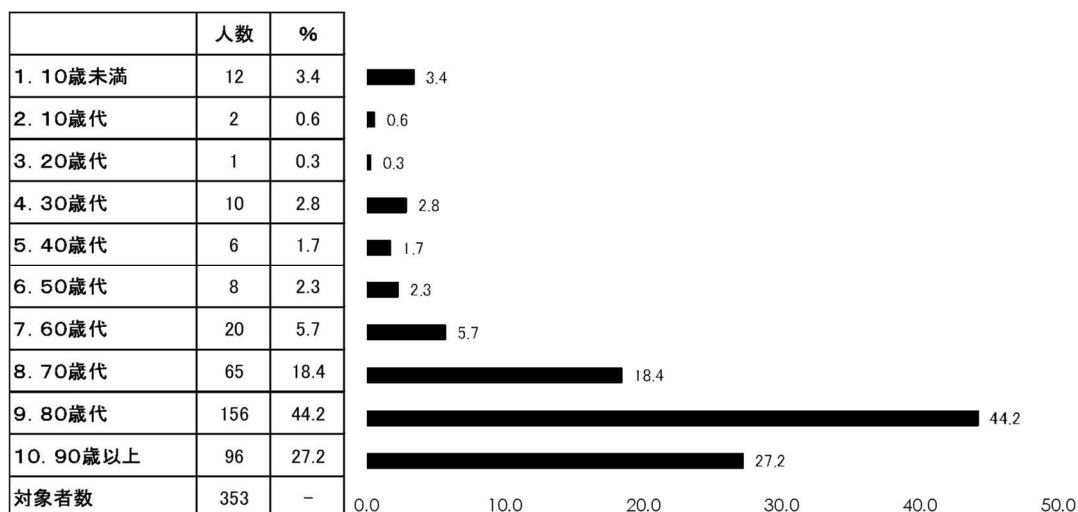
回答者の8割以上は、自身や同居する人の介護・介助の不要は無いとしている。



問 24 介護・介助が必要な方の年齢について、あてはまるものに○をつけてください。

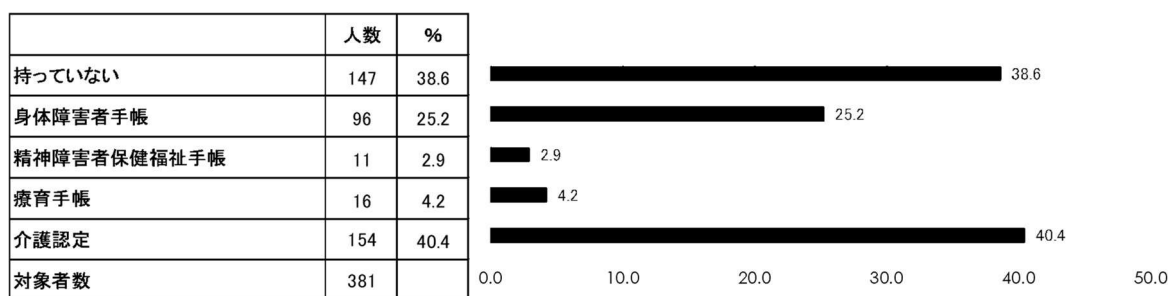
(※複数人おられる場合は複数に○をつけてください)

介護・介助が必要な方の年齢階級構成は、70 歳代が全体の約 2 割を占める。70 歳代以上合計で全体の 9 割弱である。



問 25 介護・介助が必要な方は、以下の手帳や介護認定をお持ちですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

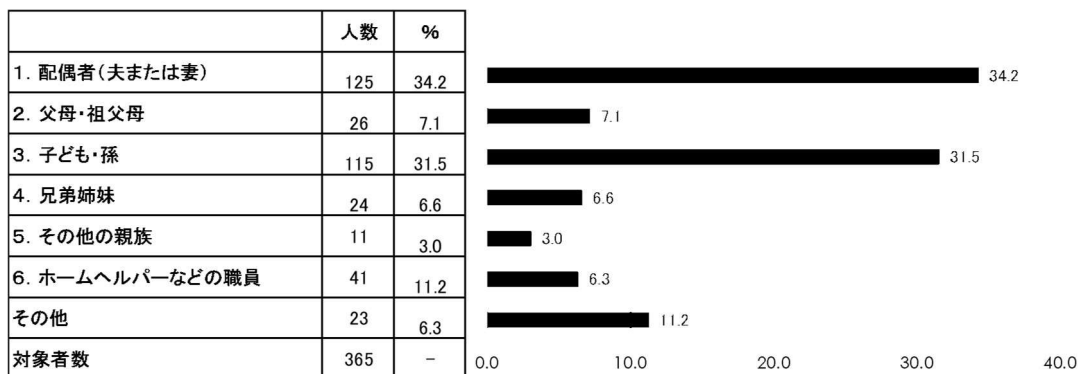
介護・介助が必要な方の約 4 割が介護認定を受けており、身体障害者手帳を持つ人が 25.2%いる。手帳や介護認定等持たない人も、4 割弱いる。



問 26 介護・介助が必要な方を、特に中心となって介助してくれる方は誰ですか？介

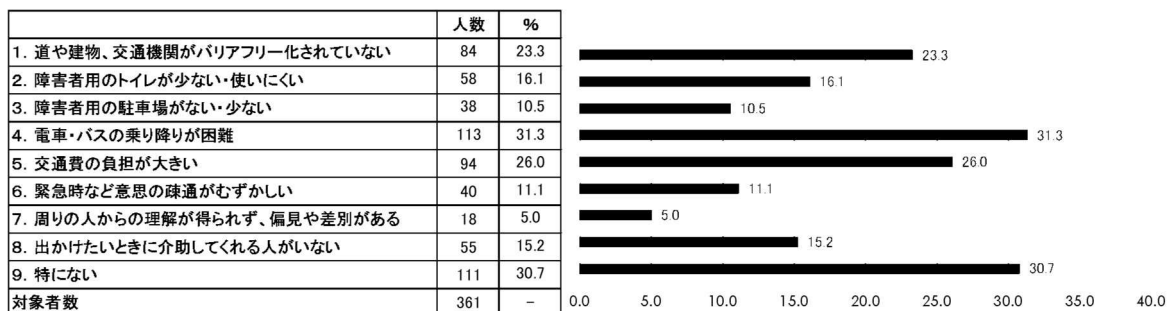
護・介助が必要な方から見た続柄であてはまるもの１つに○をつけてください。

介護・介助が必要な方を主に中心になって介助してくれる方は、配偶者（夫または妻）が全体の 34.2%、次いで子ども・孫（31.5%）である。家族・親族以外のホームヘルパーなどの職員が主な介助者と回答した人は、全体の 6.3%である。



問 27 介護・介助が必要な方が、外出するときに困ることはありますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

介護・介助する方が、外出するときに困ることとしては、電車やバス等公共交通機関乗降時の困難を挙げる人が 3 割で最多であった。次いで道や建物、交通機関がバリアフリー化されていない（23.3%）、交通費の負担が大きい（26%）と、移動・交通に係る困りごとを指摘する回答者が多い。



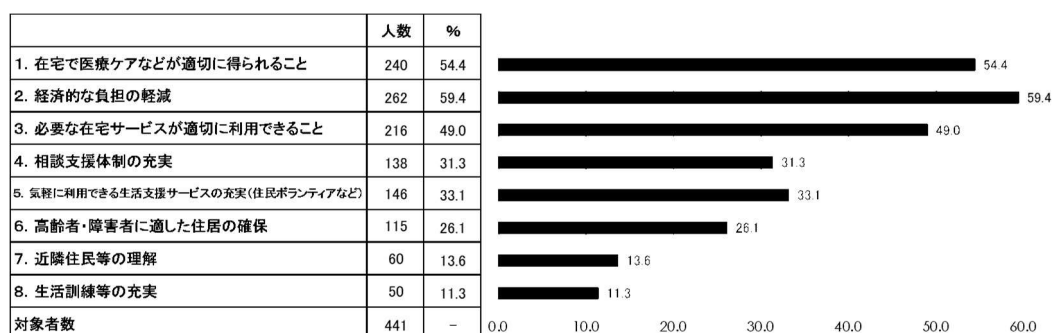
□その他

- 福祉課発行の障害者駐車場利用許可証を本人以外の健常者が平気で利用している。注意するとキレル。
- 脚の弱り、全てに不安がある、トイレが全て洋式化されていれば・・・
- 個人クリニックでのスリッパへの履き替えが高齢者や障害者にとってはリスクや障壁になっています。町の支援でどうにかできませんか。
- タクシー利用の場合、午前の時間帯に待ってくれない
- お金の管理（取られたと思ってしまう）、買い物をして家どこに置いたか忘れてし

- まい、そのお店に電話をかけてトラブルになりそうになったこともある。
- タクシー利用する（買い物等その他）。ほぼ自分で行っている。リハビリに行きたいが連れて行ってくれる人がいない。
 - リフレッシュバス今年から40,000に値上げされている。佐世保の方は無償で受けられる。佐も少し援助して頂けないでしょうか。せつに願います。
 - 車の運転をしない為、病院、買物等ができない、一人で外出した事がない
 - 通院（車椅子）介護タクシー利用、介護者必要、現在弟に頼る
 - 買い物先で借りれる車イスが少ない、またはない店がある。
 - 病院の駐車場が狭い
 - 付き添ってくれる事業所がない

問 28 介護・介助が必要な方が、これから先も住み慣れた地域で暮らしつづけるためには、どのような支援があればよいと思いますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

介護・介助が必要な方が、これから先も住み慣れた地域で暮らし続けるために必要な支援としては、経済的な負担の軽減（59.4%）が最も高く、次いで在宅で医療ケアなどが適切に得られること（54.4%）、必要な在宅サービスが適切に利用できること（49%）と続く。



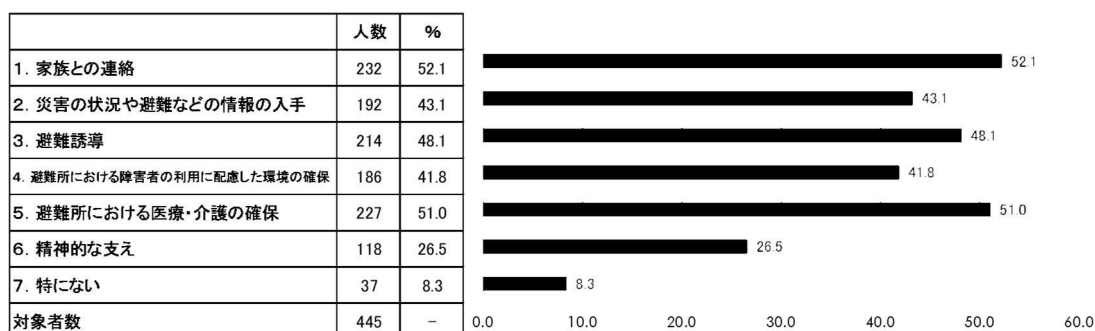
□その他

- スエーデン方式が理想。福祉とは全てそろうことですから。
- そうじ行事、他負担が多く高齢者ばかりで支えきれない
- 中々遠慮があって声がかけにくい、わが儘と思うが適度な巡回があればと思う。(町内放送で PM3:00 に一斉ラジオ体操とか、外周がシンドイ者に巡回図書などなあったら嬉しい)(元気もらえそう)
- 本人に自立した生活が出来るような努力する自覚と行動が必要
- 福祉車両の貸し出し、車イス対応
- タクシーの補助券をもう少しふやしてほしい
- 療育（言語、理学、作業等）ができる場があればと思います
- 介護、介助が必要な人ほど自分のことを分かっていない。在宅で医療ケアを行う家族は疲弊が伴う(共倒れあり)
- 運転をかわりにしてくれる人の存在、まめバス等のサービス
- 介護施設の充実(経済的、支援的に!!)
- タクシー券について1年間で使うようにしてもらいたい

- 傍に居てくれる人がほしい、人の事にかまってくれる人はいない、おかまいなし、いつ死んでもくいいない。
- 公共交通機関
- 施設
- 悩みをきいてくれる、話し相手になってくれる人がほしい。TEL とかでも
- 買い物する店舗に車椅子がないまたは少ない

問 29 多世代包括支援センターでは、災害時に特に支援が必要な人を「避難行動要支援者」として名簿を作成し、地域と連携した体制づくりに取り組んでいます。災害が発生したとき、介護・介助が必要な方は、どのような手助け、支援をしてほしいと思いますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害発生時の、介護・介助が必要な方への手助け・支援としては、家族との連絡と避難所における医療・介護の確保と回答する人が、過半数を超えた。精神的な支え（26.5%）以外の選択肢項目（避難誘導 48%、災害の状況や避難などの情報の入手 43.1%、避難所における障害者の利用に配慮した環境の確保 41.8%）いずれも、4割を超える回答者が必要としている。

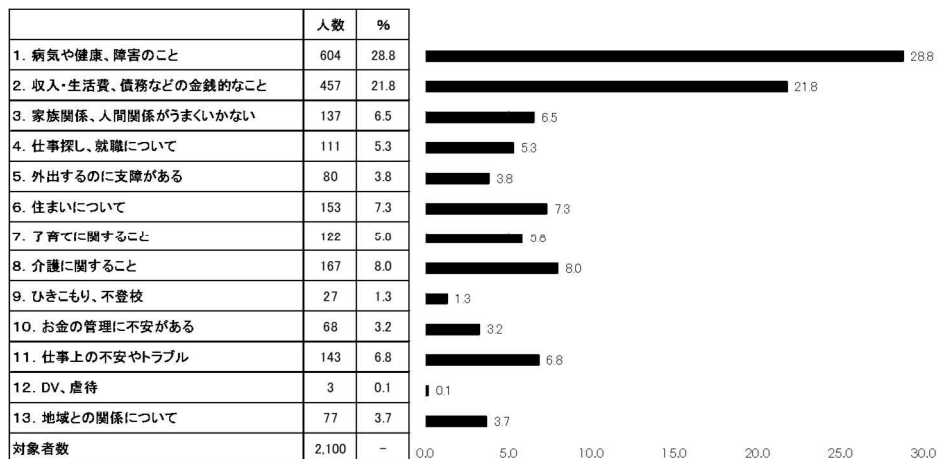


☐ その他

- 負担にならぬ様にと自身にも心がけが必要
- 動けないので車イスで避難させてほしい
- 避難の際、車がないので避難できない
- 電気の確保
- 避難所に高齢者用のベッドの用意がほしい
- 私自身高齢者なので、災害時に助けてもらうのは良いとしても、人々に迷惑をかける事が先立つので気持としては配慮はいらさない
- 集会所が約2キロあるので行けない
- 食料

問 30 あなたは、日常生活や職場で困ったり不安を感じ、誰かに相談したいことがありますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

日常生活や職場で困ったり不安を感じ、誰かに相談したいこととして、最も多くの回答者が挙げたのは、病気や健康、障がいのこと（28.8％）である、次に、収入・生活費、債務などの金銭的なことが21.8％である。



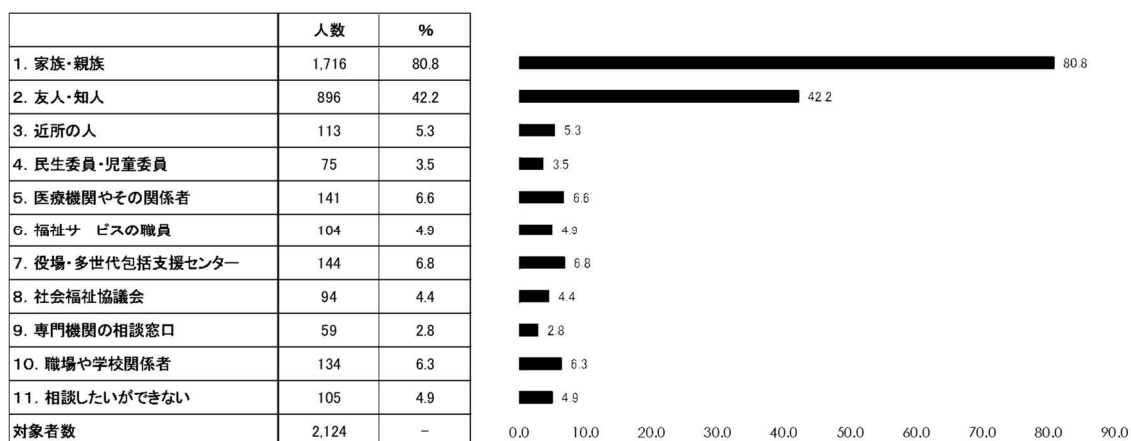
□その他

- 孤独
- 近所でもいやな事があり付き合いがありません。兄妹6人ですが、あまりの思いやりのなさで気持ちの中で縁を切っています。70代でひとり、心の底から話せる人、頼る人がなく先のことがとても心配です。不安です。
- 最後に死ぬ時のことがとても不安です。死ぬこと自体が不安ではなく、死ぬ時は死ぬので、仕方がないのですが、母を見送った時、自分の学習不足でわからない事ばかりで大変きつかったので、自分はどうすればいいのかわからなくて、学習していきたいと思っています。
- 自分で調べたり、病院受診し現在の自分がある。自分でやりぬくよう育てられた。
- 職場、職を失うと困るから
- 家から一步も出れない
- 仕事上のストレス
- 高齢のためか不安感、孤独感とか鬱傾向とか、なかなか一步踏み出せない者に助けを思うことがある
- 免許返納のため(バス、電車走らない場所)
- 町内に住む自分の父母の事(高齢、持病有)
- 学校が保護者の話を真摯にきいてくれないことがありました
- これから年令を重ねた時の事
- 学校の判断がおかしい
- 今後の財産管理
- 昨年、2月から8月仕事をしていました。（いじめにあった）利用者を叩いていないのに叩いたと言われた。その人は長年、仕事をしていたので私のことは信じられなかった。止める時、利用者様に手紙を書きました。それで私がやっていないと理解されたそうです。
- 子どもにたよっています
- 子と進学 of 学費
- 将来(老後について)
- 職につかない息子の事が心配。本人が一番悩んでいると思うので、その件では触れないことにしている。
- 相続した土地や田畑、山の管理について（売れないし手離せない、放棄もできない）
- 地域との連絡はしっかり出来ている

- 猫の糞尿について困っている。庭に入り込みほり返していく。
- 病氣したとき、誰か保証人になってくれるかどうか。家族がいないため。
- 墓じまいや住宅の整理。
- 野焼きのケムリが家にくること(土日祝の早朝に多い)
- 老後

問 31 あなたが日常生活や職場で困った時の相談先はどこですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

困った時の相談先として、8割以上の回答者が挙げたのは、家族・親族であり、友人・知人を挙げた回答者も4割以上いる。次いで、役場・多世代包括支援センター6.8%、医療機関やその関係者6.6%、職場や学校関係者6.3%、近所の人5.3%、福祉サービスの職員4.9%と続く。相談したいができないとする回答も4.9%あった。

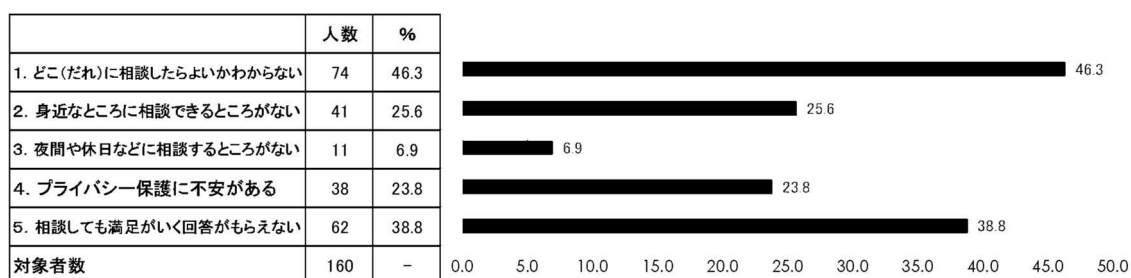


□その他

- ボランティア先のスタッフに話す
- インターネット
- ケアマネジャー（デイサービス）
- 身近に感じた事がないから分からない
- 心療内科
- 相談相手が居ない
- カウンセリングステーションころね様（先生もとても優しいです。）コラージュセッションで定期コンディショニングしています。箱庭療法もあり、とても気持ちが晴れてオススメです。
- たまにする時もあるが真からいえる人はいない。精神科にいつてみたいと思っている
- 施設の職員
- 自分で解決しかない
- 職場の上司
- 神様
- 人は信じられない。相談窓口も所詮、上部だけのマニュアルに沿った話しかしないから結局は誰にも相談せず自分で抱え込む。
- 相談したが、私のこと信じられなかった

問 31-2 （問 31 で「12. 相談したいができない」と回答した方にうかがいます）あ
なたが、相談したくてもできない理由は何ですか？あてはまるものすべてに○をつ
けてください。

相談したいができない理由として最も回答が多かったのは、どこ（だれ）に相談し
たらよいかわからない（46.3％）である。次いで、相談しても満足がいく回答がもら
えないとする回答が 38.8％ある。

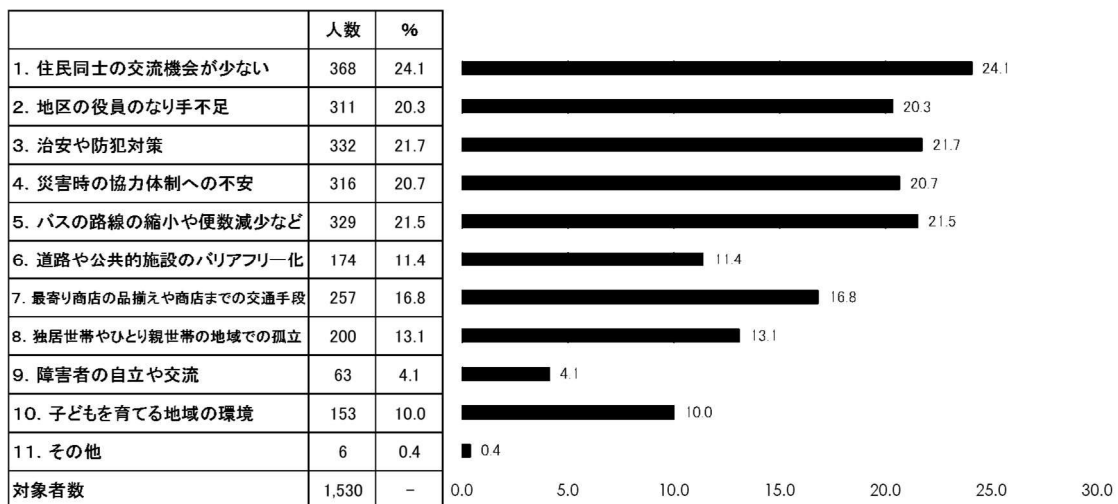


□その他

- 相談したとしても結果は変わらない為
- 銀行引き落としで不明の毎月 10 万は何かと聞きに行った時個人情報保護の観点から教えられないといわれた。自分の通帳に個人情報保護があるのかと聞いたらあるとって教えてもらえなかった。
- 話しても相談しても聞くだけで解決にはならない
- 話しますが誰もわかってもらえない
- 公共の場、仕事に関する事あると知っていました
- 自己責任というか、自分に課してしまう(かかえ込んでしまう)
- 相談しても本当に適切に実行してもらえる保証がないことが多いと思うから。
- 誰に言ったところで解決した試しが人生において何も無い。他人(妻も他人に含む)なんてうわべだけ相談にのってるだけ

問 32 佐々町、とくにあなたの御自宅周辺で、あなたが感じる不安や不満はありますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

自宅周辺で感じる不安・不満については、住民同士の交流機会が少ないが 24.1%で最も多くの回答者が挙げている。その他 2 割以上の回答者が挙げている項目として、治安や防犯対策（21.7%）、バスの路線の縮小や便数減少など（21.5%）、災害時の協力体制の不安（20.7%）、地区の役員のなり手不足（20.3%）となっている。



□その他

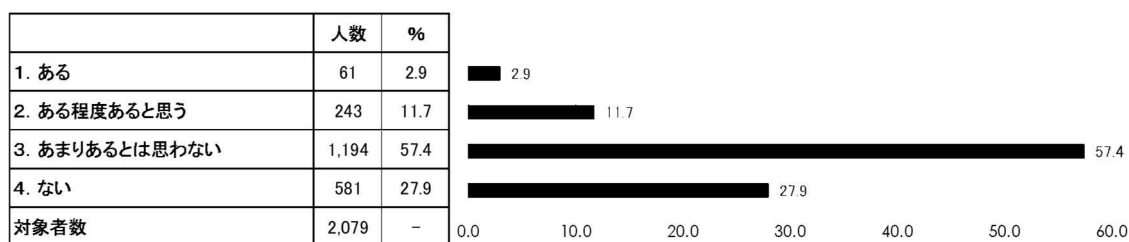
- 路駐
- 路上駐車してはいけない所で日常的に駐車している人が多い
- 路上駐車
- 隣家の住民が庭でゴミを焼く
- 裏道の車がスピードが出している＝あぶない
- 野良猫問題、糞尿、猫アレルギー、エサをやらないでほしい
- 野良猫が多すぎる。明らかに野良猫を増やしているような家に行政指導も出来ないのがありえない。人の敷地に入ってきて人の家の物を傷つける野良猫をどうにかしてほしいが相談先が分からんし言ったって解決するような働きを行政がしてくれると思わない。
- 野良猫が多すぎて、糞尿被害に困っている
- 野生動物の出没
- 野焼きのにおいが洗濯物につくこと
- 夜中から朝方のタクシーがつかまらない。
- 迷惑行為が絶えない隣人
- 防災無線が聞こえずらい
- 平野在住、千本を登った先の家だが、道が悪すぎる。上下水道の工事を行うのは良いがその後の道路舗装が汚すぎる。聞かないとわからないなら町中回ってみろ
- 分からない
- 病院の駐車場
- 道路整備、高速道路を使用するさい他の町の道路は整備完了している。佐々町内だけが高速道路を使うとなると混雑した状態橋がない道が途切れている
- 働く職種が限られる
- 町内会の草刈りの広さと距離の長さ、足が痛くて移動が 違約金も高いです
- 町内会のような実効がない余計な活動
- 町内会のイベントに参加するが、会話がな
- 町内会に入っていない世帯がいるが、強制で入れるべき

- 町内会が面倒
- 町道の整備、狭い道が多い、子供が心配
- 駐車場がない どうにかしてほしい
- 駐車(違法)、ペットのフン
- 地区で班ごとに順番に班長がまわってくる
ことが不安
- 大きな病院が足りない
- 騒音(早朝からトラックのエンジン音、自動車整備の音)
- 騒音
- 水道管の埋設状況(自宅敷地外)60 年は経過
しているときいている
- 親の相続
- 深夜の暴走バイクがうるさく寝れない。い
いかげん取り締まってほしい。
- 深夜のバイク騒音
- 常識のない奴が近隣に住んでいる
- 小浦駅前の信号機のないおうだんほの危険
性
- 商業施設が少ない
- 住民同士のトラブル
- 集合住宅のゴミ捨てルールを守らない。
- 捨て猫を今まで 5 匹育てて今 2 匹育ててい
る。子猫を捨てないでほしい。
- 自宅裏の世帯主から建売住宅で土地も購入
して 14 年住んでいるが、裏の主人の人の柄が
とても悪く何かと不機嫌で意地悪で、その
お方も周りの住民とも交流がなく私も超警
戒している。
- 自宅前にゴミ収集箱があるため離してほし
い
- 自宅周辺が街灯が少なく暗い
- 資源ごみの収集日が少し増えたらいい。
- 子供達は、歩道が無い道を登校しているの
ですが、車のスピードを出して通る人がい
て危ない。
- 子供会、町内会への入会
- 子供が少ない、声がっこうにないのがさ
みしい
- 子どもの態度が悪いと思う時がある。
- 子どもが歩いていける遊べる公園がない、
車で移動がいる
- 山の上でイノシシ等のおいがする。対策
をとってほしい
- 佐々郵便局職員数名の対応が悲しいです。
- 佐々町は住む人にとって最高の町です
- 今の所は別にないが免許を返納した場合な
と⑦の不安がある
- 高齢化に伴う協同作業ができない
- 高齢化
- 公園を増やして欲しい（子供が遊べるレジ
ャー施設）
- 公園が少ない
- 交通渋滞、歩道等の整備
- 交通安全対策
- 交通マナーが悪い人間が多過ぎる
- 現時点ではありません
- 形成外科がない。医療資源が足りていない。
- 空き家問題 道路幅が狭い
- 空き家問題
- 近隣の建物状態…雨樋破損のままである為
降雨時の二階からのけたたましい雨音に悩
む
- 近所で飼っている犬がうるさい。
- 近くにある農家が精米所をつくり、もみが
らがとんでくることがある
- 牛くさい、道路に土をまく人がいる。野焼
きでくさい。
- 気軽に運動や体を動かせる場所が欲しい
- 街灯が少なく夜が暗い
- 街灯が少ない（無い）
- 崖などハザードマップに指定されている地
域の整備
- 家のまわりでゴミ焼き、道端で小便(大人)
- 運転免許証返納後の交通手段
- 飲食店が少ない
- 暗い
- マナー
- ペットとの散歩で糞の後始末をしていない、
マナーの悪い人がいる。
- バス停や電停まで遠い、歩くとなると夜が
暗い
- せまい町道なのに国道の抜け道になってお
り、交通量が多く、速度も早いまた、歩道
も無いまたはせまい

- ご近所付き合い
- ゴミ回収の頻度
- ゴミのポイ捨て
- コインパーキングがない
- お隣さんからの火災発生への不安。独居人でアル中、寝タバコ常習者。
- ウォーキングコースの河川敷の街灯がないこと
- バイクの爆音がうるさいが、警察が取り締まりをしている様子がない
- 千本団地に住んでいます。老後最寄りのお店や病院に行く事を考えると、免許の返納は無理だなあと不安になる。
- 横断歩道に信号をつけてほしいところがいっつかある。
- バス停にイスが欲しい
- 歩道と車道の境目がない所、街灯がない所が通学路などによく見られ、運転する側、今後子供が小学校に通う事を考えると不安。(佐々小、清峰の学生さん)
- 野焼きが迷惑
- 地元の人間ではないので、地域との交流、知人がほとんどない。
- 子供さん達の姿をあまり見ないので淋しい
- 隣の木々が延び放題でヘビも増えているが恐くて言えない
- 野焼きのケムリ、街灯が少ない
- 夜中のバイク音
- 管理されていない荒地があり度々タイノシシが出没して不安です。
- 一人暮らしの高齢者の敷地から生えた雑草、竹等が子供の通学路の邪魔になっている。
- コロナのため、近隣交流の機会が減ったというよりできなくなった。
- 皆瀬の広川酒店の前の歩道を安全にしてほしい。子供を歩かせるのが怖い。手すりをつけてほしい。
- 小浦駅があるのに、サンビレッジ通りに街灯がなく、学生など帰りが怖い、心配、危険。
- 騒音、ゴミの不法投棄、道の整備、街灯の少なさ
- 町内への入会が減っている様で、町内会の行事が成り立たなくなりそうに思う(清掃、草刈り、道路の整備)
- 車の通行量が増えて、近くの交差点は信号無視が多く危険を感じることも多くある
- ねこの放し飼いや、いつもフンをされて不満があります。
- 防災拠点の公民館がせまい。安全？と思う場所にある。できれば大きな駐車場があった方がよい。
- 仕事が無い、生活が成り立たない
- 住民と上手く行きそうにない。一部の方。
- 夜9時のサイレンがうるさいので、無くするか音を変えるか考えて欲しい。
- 不登校の児童に対する フリースクールなどの対策がない
- 小学校の区割り
- 空き家が多く、また古く危険を感じるし、衛生的に子供に良くはない。どうかしてほしいです。
- ペットのマナー
- 道路の痛みで車がいつも通る道路に家が接近して建っているため、振動が感じられる
- 駐車違反が多い
- 感染症に対する認識がまちがっている。子どもたちにやさしくない(苦しんでる)ワクチン推しが危険すぎる。情報ちゃんと集めていますか？
- 家賃が高い、アパート、マンションを安くして欲しい
- 町内会に入らない子育て世代がわからない

問 33 あなたは、あなたの周りの学校や仕事場、住んでいる地域において、障がいがある方に対する差別や偏見があると思いますか？あてはまるもの１つに○をつけてください

障がいがある方に対する差別や偏見がある、または、ある程度あると思うと回答した人は、全体の 15%弱である。



問 33-2 （問 33 で「1. ある」「2. ある程度あると思う」に○を付けた方にうかがいます。）どのような差別や偏見があると思いますか。

- 老いてきて自分にも体の障害が出る時があるかもと頭の中ではわかっているけど今現在健康であれば、障害のある方に対し向ける目や言動が違います。以外と 60-70 才を越えられた方が多いことに残念に思います。
- 路線バス、JR など(車も)障害者を優先してない。道路など健常者の優先道路になっている。ヨーロッパをみないなさい
- 理由を聞かれるとむずかしいですが、本人をじーっと見るのかなと思います。
- 理解してるようでしてないし、孤立しても見て見ぬ振りをする
- 理解があまり得られてないと思う。
- 無言、無視
- 無関心
- 本人がいない所でのかけ口や、見て見ぬふり相手に対しての思いやりがない人が多い
- 歩道がせまい、段差がある
- 平等、対等に接してない気がする
- 分からない
- 発達障害に対してまだまだ理解が進んでいないと思う
- 白い目でみている
- 排除
- 能力的なこと
- 年配の方の潜在意識
- 年配の方が差別的発言をする所を見かける(国籍、LGBT、人の見ため等)障害者
- 入りにくい家の作りと、人のつき合いが悪いので交流したいけど交流できないので残念です。
- "内部障害で見た目では分からない障害があるということ自体が、理解されていない
- 見た目で違いがある場合の偏見
- 特には分から無い
- 道路や施設での移動の不便さや、せっかく預けられた子供の施設の先生の、こうなければいけないと言う偏見のせいで子供が悪い子扱いされて辞めなきゃならなくなった
- 頭では理解できても心のどこかに可哀想と思う心がある
- 町内会行事の中で、町内会未加入の子ども達は規定により景品がもらえない。
- 町内会の役員の人が親身でない
- 町の全体の空気が障害者等に、強く深い支援を行ってくれるというような発進力が低いと思う。他の市から転入したけど、すごく保守的でなかなかとけこめず、近所の人ともあまり会話もなく淋しい限りです。
- 地区の役員で普通に歩いて買い物に行っているのに「もう年だから」と若い人は動け

- るという理由で地区の事をしない人がいる。また若い子の悪口を言っている。
- 地域交流に際し、とある障害がある人の状態や言動により、私どもの仕事が減った。又、地域交流の話が全く伝わらなくなった。こちらが何か言えば、差別だと言われているので、全てに対し無言を通している。
 - 知的障害者等に対する理解
 - 知的障害などの、年齢にあわない行動などに対する周りの理解。
 - 知識がない人がほとんどなので、見た目では分かりづらい精神や知的の人への偏見はあると感じる。
 - 対応が難しい。わからない時が多い。
 - 体型に対しての言動(ふとっているなど、ブタ)
 - 他地域から転入してきて、町内会的にかんじる。(農家関係)
 - 他人事としか思えず関心がない。
 - 全てにおいて
 - 先輩の方々の話の中で「めくら」「ちんば」「かたわ」等昔から聞いていた。表では偏見ないよう対応されているが、裏では…こんな言葉が聞かれていた。今も差別や偏見はなくなっていないと感じる。
 - 先天症の病気で大きなオペをした後、車イス生活を1ヶ月間しましたが、外見では普通に健常者に見えるため、どこが悪いの？と質問される
 - 接触や交流を煩わしく思う
 - 接し方がわからずに戸惑う
 - 積極的に関わって、できるだけ健常者と同様に対応しようとする意識が弱い。
 - 昔に比べると少なくなったとはいえ、徐々に日本の国力が衰える中、住んでいる人の余裕が失われていけば、しわ寄せは必ず弱者に向けられる。
 - 税金の無駄遣い。存在価値。
 - 精神障害者に対して理解できていない、偏見しているようだと思う
 - 精神障害者には少なからず偏見があると思う
 - 精神疾患や認知症、引きこもりの方を隠している
 - 精神、身体弱者へのバリアフリー化の配慮、施設整備不足
 - 生活レベル、車などで見る目が違う人が多い
 - 正しく理解していないゆえに憶測で決めつけてしまうことがある。
 - 性的マイノリティへの配慮
 - 性的マイノリティ
 - 人間関係、1人でさびしい
 - 身体的な偏見
 - 身体的な差別や偏見
 - 身体障害の駐車場に止めたとき
 - 身障者に対する気軽なサポートをあまり見かけない
 - 心の中で「この人はかわいそう」とどこか下に見ているというのはあるのかなと思います。ですが、平等に接するというのも難しいのかなと思います。これからハンディキャップをもっている方々も私たちも関係なく個性と捉えた町づくりをしていきたいです。
 - 心ない言葉、態度など
 - 信号、ガードレール、乗り物、商店での不都合、他不便が多い
 - 職場等での障害者雇用などで何を考えてるかわからない、動きがやすい、大丈夫なの？等の周りの言葉を耳にする
 - 障害者を見る目や仕草
 - 障害者への配慮不足、設備不足を見ているとまだ理解がなく、そういう場面に出会うと可哀想、大変そうなどの偏見、また、環境を通じて差別されている感じがとれる。
 - 障害者への差別、男女間への差別
 - 障害者は弱者だとの偏見があると思う。
 - 障害者の動作のまねをしたり、悪口を聞いた事がある
 - 障害者の職場に何ヶ所か務めたのですが、職員に対して不満が多いにある。職員が気付いてないのか障害者あつかい（言動）一般就労で働いてきた私にはみじめさを感じ

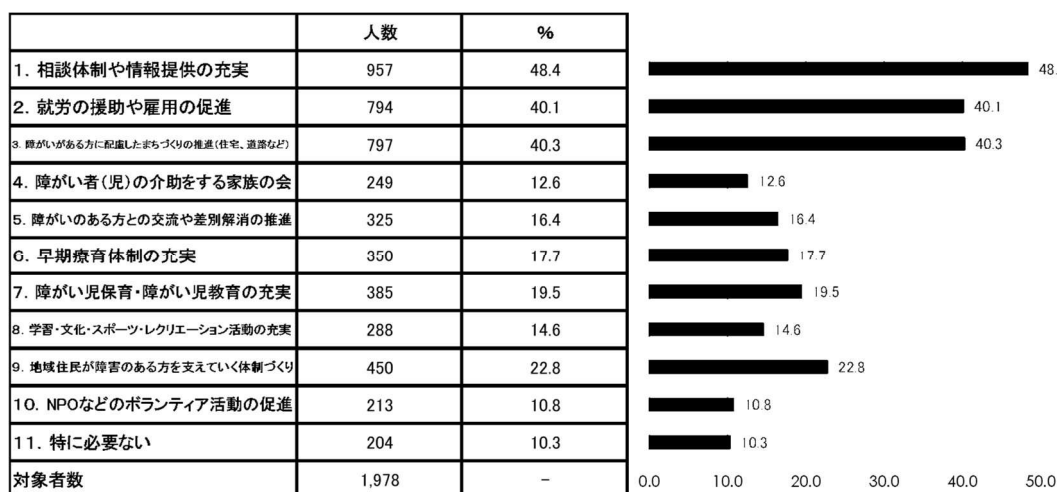
- ました。障害者のいる場所がないと思いました。
- 障害者の雇用が少なく感じる
 - 障害者に対する理解がない時がある。認知症には特に難しいと思う。
 - 障害者にやさしい町にしてほしいハード面の整備、福祉センター入浴の制限解除(従来に戻すあまりにも杓子定規)
 - 障害者、女性
 - 障害児(者)をかかえている家族が近所に相談できない環境があり、自分たちだけで生活しているところがある。家族が恥ずかしいと思っている人も少なくない。地域に偏見があると思う。
 - 障害を知ることでそのような対応をされることが多いため
 - 障害を持つ人や家族に対してサービスに関する情報や支援が少ないことに差別的なものを感じる
 - 障害や差別をはっきりと示せることがわかりにくく対応をあやまってしまうことがありえるとおもうから。
 - 障害のある方への差別
 - 障害のある方についてひきこもり不登校についての理解がないと思います
 - 障害のある人が一般の人といっしょに働いている会社が少ないということがすでに差別されているのでは？
 - 障害のあるかたが、どこにどのくらい生活しているか全く知らないし、それを知る機会もないので、町全体では差別や偏見はあると思うが具体的にはわからない。
 - 障害に対する理解がない為
 - 障害というだけで、何もできないと思う方がいると思う。障害というだけでなくどんなことが障害なのか。
 - 障害がない人とは違う対応を迫られる事が多いのではないかと考えてしまう
 - 障害がある方の理解があまりない
 - 障害がある人はかわいそうと思う事が偏見。平等に接すればよい
 - 障害がある人が普通に暮らせる環境がない。道が狭い、バリアフリーが遅れているなど。
 - 障害がある従業員も頭数に入れられる為、残業の時などに指摘を受ける
 - 障がい者も平等にと世の中は言ってるが税金控除などがある、障がい者施設で働いてる人達の賃金は明らかに安い、施設の職員は明らかに高給(施設の管理者に当たる人間は特に高給)。それは差別だと思う。
 - 障がいへの無理解
 - 自分は障がいを負わない、または老化しないと思っているかのような勘違い
 - 障がいについての理解が進んでいないと思う。
 - 少し見下している気がする
 - 出来るだけかわらないようにしている人が多い。
 - 出来ないことがある、ということ自体が差別につながる。
 - 就職、結婚
 - 周囲の目が気になる
 - 若い方は教育でそこ迄ないが、年配者が差別、偏見と思わずに、見た目、容姿に対する点やその他色々ある。
 - 若い世代が多く務め人が多いので交流が少ない。町内会に入る人が少なくなったのでは。
 - 社会生活を送る上では差別や偏見は必ずあるし、また、どのようなという愚問に対する回答は困難。受けている側でないと分からないと思うが。
 - 自分自身にある？
 - 自分の中にも差別感はあるので
 - 自分と違うことへの受け入れがなかなか難しいと思う。(小学生～高校生)学級を別々にすることもよし悪し。保育園ではみんな一緒。小学生から分けるから、そこで自分とは違うと偏見を持ってしまう。そのまま大人になるから社会で差別が出る。そもそもしじめにつながる事が問題。なぜしじめにつながるのか、根本的な原因を見つけて対処しないと差別や偏見は無くならない。障害という言い方も変えた方がいい。その時点で差別、偏見が生まれる。障害のある

- 人ない人分けずにみんな一緒に勉強、遊ぶのが一番。
- 自身と異なる特性や事情のある人々に対して、知識不足や想像力の不足から、大なり小なり誰しも差別はしていると思う。
 - 持病に対して悪口を同世代の子の親から言われたり、親が子に悪口を言うので子も言っていると思い差別してくる
 - 視線や言葉
 - 特に60-80代、若い人は無関心
 - 家族や近所に障害者がいなかったり交わる機会がない
 - 視線が冷たい
 - 私の子供(58才)障害者なので、時々、(ホーム→)家に帰宅してる時ジロ〜ジロ〜と見られる、
 - 仕事内容についてはその人が出来る物に限るが、職場では協力してもらうように配慮してある。
 - 仕事を探す
 - 仕事の制限
 - 妻に先立たれた人が不自由な足で買い物されているが、誰も手伝おうとしない(私も含めて)
 - 差別的態度
 - 差別や偏見は学習する機会が無いと、本人は無意識のうちにしている場合がある。
 - 困っている人がいても見て見ぬふりをしている
 - 困った様子を察しても、本人のニーズも含め、近くに家族が住んでいるのだから他人が口出しできないと思っている。
 - 行政の理解不足
 - 行政(役場)以外でのトラブル、一般人以外に対して、面倒くさい、舌打ちをする人、佐々町民見直さなければならないと思います。態度で自分の意見を表す人が多い。
 - 口に出さない
 - 雇用機会や賃金格差、障害者に対する陰口等
 - 言っても分からないとあきらめられている
 - 見下す様な扱い
 - 見下す所などあると思います。
 - 見て見ぬふりをしたり、無視したりする
 - 見て見ぬふりがあると思う
 - 見て見ぬふり
 - 見た目で人を判断評価する
 - 見た目、行動
 - 見た目 言動
 - 嫌悪感
 - 健全な人からは動作が遅い
 - 健常者と平等に見ないといけないと思うが、どうしてもどこかで健常者で区別して考えるところがある。
 - 健常者と異なる部分に偏見等があると思う
 - 健常者との能力差
 - 具体的に見聞きしたわけではありませんが、あるにはあると思います。
 - 距離を置く
 - 偽善者が多いと思う。
 - 気持ち悪いと感じる
 - 関わることを無意識に避ける
 - 関わりを持ちたくないと思われるのではないのでしょうか
 - 関わらないようにしている風
 - 学校で特別学級について子どもが質問をしたところ、「〇〇先生がよく知っているから〇〇先生に聞きなさい」と言われたとのこと。先生たちが障害について理解されてないのに子どもたちが理解して受け入れることは難しいと思う。
 - 学校、就職
 - 何事に対しても偏見の目で見られている
 - 一方的なイメージを持って、正しい現状など知らないと思う。
 - 一定の距離をとる
 - 以前住んでいた他県市に比べて障がいを持っている方々を見かけることがほとんどない。このことからそう思う。
 - やはり特別な目で見ると
 - もし若いなら見てあげたいと思う
 - みんなと違う
 - まだまだ理解されてないし、にんちされていない。適応できる場所を選んで下さい。
 - バリアフリー化、障害者雇用が進んでいない

- なんとなく感じる
- なかま意識が強い。
- たたきあい
- すりこみによる(無意識)偏見。自分とちがつことをみとめられない人がほとんど
- 障害の為できない作業がある
- コロナ発生後のニュース、、自分の近くでもあるのでは、考えられるので！
- こそこそ話や目つきで相手を見下している
- 心にない言葉で話している
- 住民同士のせせりあいがある
- けんそんしない人はイヤです。
- 具体的には言えないが、障がいのある方に対して視線が厳しいと思います。
- うわさ話はあると思う。いい話はしないが、悪い話は常日頃あると思う。
- うわさ話
- うわさ
- いろいろ
- イメージ、見る目が変わる
- いじめ
- あることが当然だと思います。
- あいさつしてもしてくれない
- 障害者施設の運営者、職員の障害者に対する対応が雑。障害者としてひとくりですませて一人ひとりの障害内容まで理解できていない。
- 就職
- バス車内での運転士の言動
- ろうあ者への聞こえの保障が全くされていない。手話言語条例未制定は恥ずかしい事という意識のなさにレベルの低さも感じる"
- 「障害がある」という言葉が嫌い。差別的な感じがする。他にもっと良い言い方がないのでしょうか。
- 「めんどくさい」と思ってしまう。
- 「スーパー等で車椅子を押しながら会話をしつつ買い物をしている時に子供連れの母親の方が、「近づきなさんな！」と言って子供を遠ざける様に離れて行く！」このパターンは何度も経験しました。

問 34 あなたは、佐々町が今後、障がいがある方のために特に力を入れるべきだと思う施策は何ですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいがある方のために特に力を入れるべきだと思う施策としては、相談体制や情報提供の充実（48.4％）、障がいがある方に配慮したまちづくりの推進（住宅、道路など）（40.3％）、就労の援助や雇用の促進（40.1％）を、多くの回答者が挙げている。地域住民が障がいのある方を支えていく体制づくりが、これらに次ぎ 22.8％の回答者が特に力を入れるべき施策として挙げている。



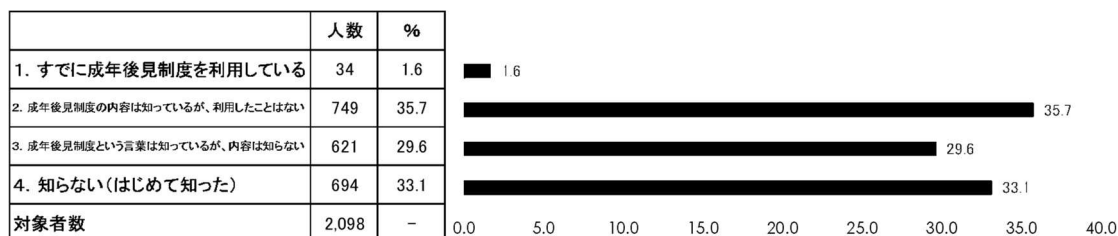
□その他

- 力を入れなくていい。無駄。
- 福祉職員の増加
- 特にできないことがない
- 通院サポート（人、車）
- 足に障害があるがあまり不安はない
- 相談体制などできているのではと思う。
- 生活資金
- 障害者を支える側をより支えられるようにすることが重要
- 書いてあることはわかるけど、よくわからない
- 自分のことで精一杯で思いあたりません
- 施設
- 子育てなどと比べて優先度が高い質問ですか？
- 仕事がない
- 災害時対策
- 佐々町の状況を十分把握していないので、何とも言えない
- 佐々町にすみ始めたばかりなので、まだわからない
- 今現在佐々町がどれだけ障害者の為の取り組みをやっているのか分からない、自分の身内に当該者がいない為調べたりしない、知ろうとしていないので、こうするべきだという回答はできない
- 学校にエレベーター
- 何が必要なのか知識が無いためわからない
- わかりやすいサービス、資料の提供
- ヘルストロンに通わせてもらっています。そこに出席される方はほとんど老人ですが、子供さんたちの姿も良く見ますし、すごく元気をもらいますので、佐々に住まれたことに幸せを感じます。
- 障害者手帳の保障内容が不十分
- 支援を必要とする人は増えているが、支えるボランティアをする人が少ない。

- 本当に家から一歩も出れないので、少し息抜き出来る場所
- 外見的变化以外の障害は分かりづらい為知識獲得は必要、知識を得ることで、偏見や差別も減少しそうです。子供も障害児を受け入れている幼稚園で過ごし、その子に対する優しい心がはぐくまれました。
- 若い時から薬に頼っていると依存してしまい、そこから抜けられなくなってしまう人もある(精神障害の方)
- 障害者専用のグループホームが少ない。県内にあまりない。
- バスの無料(福祉パスをつくってほしい)
- 車イスが通れる様に広くしてほしい。バスが通ってない所等は特にお願いします。お年寄りになった時、佐々町はバスが無料にはならないので、タクシーを無料が無理でしたら、佐々町の中だけでも無料か半額にしてほしいです。(手続きをして助成金をもらうのではなく、マイナンバーなどの提示でサービスを受け取れるとか)
- 1人で出かけられない人のためのサポートや体力づくりのサポート
- 理解の広がり 差別や偏見を無くすこと 下に見ないことの教育
- 2歳になっても歩行困難で精神発達の遅れのある子どもたちにオムツの支給をしたり健康の子よりも医療費を少しだけでも安くしてほしい。
- ボランティアなど活動の充実、すみずみの活動、各々(若者の)活動意識

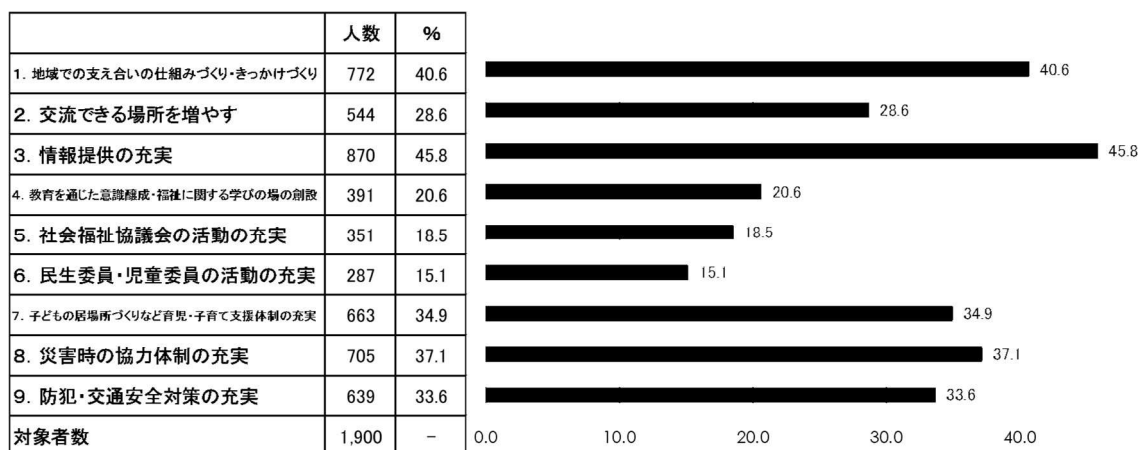
問 35 あなたは成年後見制度があることを知っていますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

成年後見制度の利用者は、回答者全体の 1.6%であった。同制度を知らない(はじめて知った)、または言葉は知っているが内容は知らないとする回答者が、全体の6割を超えており、普及啓発が課題である。



問 36 「地域福祉」の取り組みとは、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指し、行政や関係機関と地域住民の協働のもと、地域の課題を解決しようとする取り組みのことです。あなたが佐々町の地域福祉で必要だと思われる取り組みはどういった内容でしょうか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

地域福祉の取り組みとして挙げた項目は、全て回答者の 15%以上が必要だとしているが、中でも情報提供の充実（45.8%）、地域での支え合いの仕組みづくり・きっかけづくり（40.6%）の回答率が高い、次いで災害時の協力体制の充実（37.1%）、子供の居場所づくりなど育児・子育て支援体制の充実（34.9%）、防犯・交通安全対策の充実（33.6%）までは3割以上の回答者が必要と挙げている。



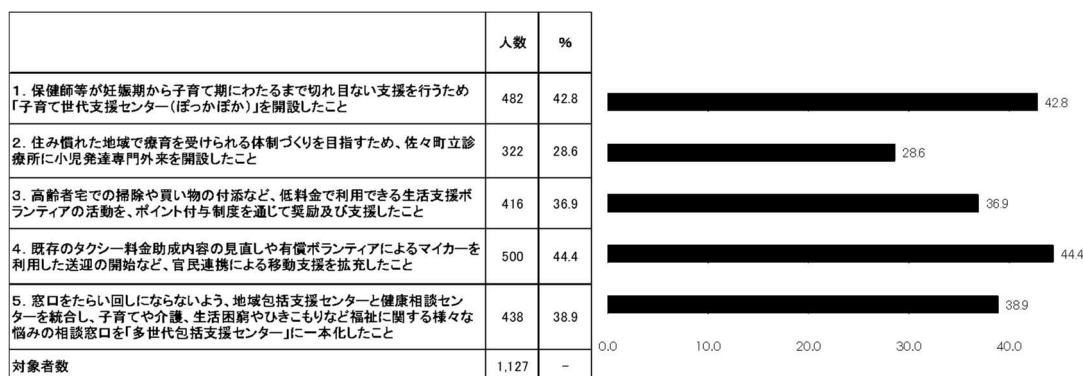
□その他

- 役所の民間委託頼りを無くす、教育福祉にもっと金をかけてほしい
- 免許を返納した際、タクシー代、バス代の無料化。
- 免許（車、運転）返納後の交通手段の充実
- 民生委員・児童委員のなり手が少ないので手当をふやすなど
- 母子家庭には当たり前のように色んな手当などもあり優遇されていると思いますが、父子家庭にも同じような体制ができればいいのと思います。父子家庭は母子家庭より色んな面で大変だと思います。それを聞いているから。
- 佐々町に住まわせて頂いて長くないのでわかりません、すみません。
- 高齢者社会と云われる中活動が鮮明に見えない。高齢者を元気にするステージがないのではないか？
- 高齢者を元気にするステージが見当たらない。
- 行政が動くための、変なしがらみ、責任のてんかをなくすのが一番
- 関心がない、とうてもいい。
- バス券が使いづらいので使用する機会が少なくなっている
- アレルギー対応の給食
- 住民全体での公平な取り組み対策
- 避難場所の道をへだてた場所でがけが崩れた。避難場所に入って近所の人達は云々心配していたががけ崩れがありそうで避難できないと。だけど補給は避難場所にくるか

- ら我々は助けてもらえないねって言ってましたよ。
- 病児保育のある小児科を作ってもらいたい
 - 子ども食堂
 - 公園に遊具が無い 公園で子供が遊んでない
 - 健康センターと包括支援センターの同一化でもうひとつのハブができた
 - 特殊詐欺、不信電話に対する具体的な方法
 - とにかく町民が楽しめる場所がほしい
 - 地域＝ご近所とのお付き合いと助け合い
 - 町民が町内会に入らない事を許さず、いざという時に手を取り合えるようにすべき。子供会も同じ！町内会での子供の交流に参加できない子がいる。
 - 個人情報保護があるため、情報が得られない
 - 学校がすべてではない。登校しない子への偏見が激しすぎる町です。
 - 地域の顔が見える付き合いが大事だと思うが新築で家を建てる世代は全く顔が見えない。町内会は廃止して構わないと思うが、地域にどの顔が住んでいるかは分かった方がいいので町内会制度を廃止して、なおかつ顔の見える地域づくりをビジョンに掲げるようにして若い世代を巻き込んでほしい。
 - 佐々町の福祉にあたられている方、本当に良くして下さっていると思い感謝です。ただもっと仕事の内容のアピールを広報をと思います。(活動の)
 - 民間企業との協働

問 37 佐々町では、令和 2～6 年度を計画期間とする「地域福祉計画」策定にあたり、一部今回と同様のアンケートでうかがった皆さんのご意見を踏まえ、下記のような施策に重点的に取り組んで参りました。これらについて、あなたは知っていましたか？知っている施策すべてに○をつけてください。

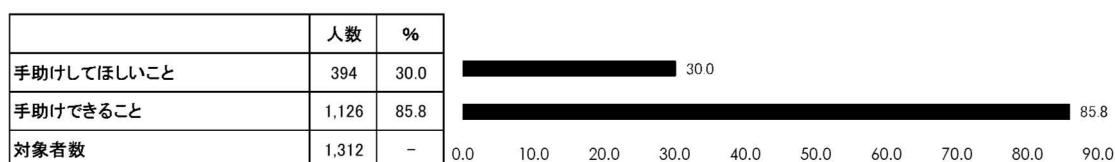
町の重点施策に対する認知度は、いずれも回答者の約 3 割を超える。



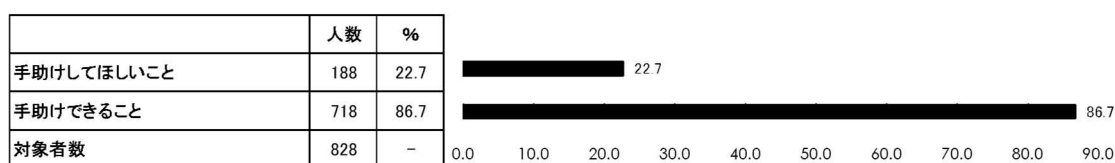
問 38 佐々町では、地域の支え合いやボランティア活動による生活支援サービスを推進しています。あなたがもし隣近所の人に手助けしてもらおうとしたら、どんなことをしてほしいですか？ また、隣近所で困っている人がいた場合に、あなたができることは何ですか？ 「手助けしてほしいこと」「手助けできること」のそれぞれのあてはまる数字に○をつけてください。

地域の支え合いやボランティア活動による生活支援サービスについては、いずれの項目については、4年前の前回アンケート（第Ⅰ期地域福祉計画策定に係るアンケート）と同様、手助けできると回答した数が手助けして欲しいとする回答を上回っている。

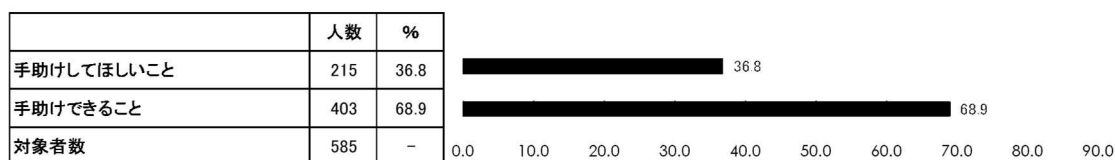
[安否確認の声かけ]



[話し相手]



[話し相手]



[自家用車で病院や商店などへの送迎]



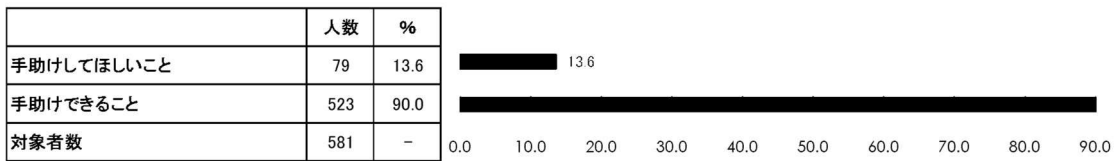
[町内会集会所までの送迎]



[ゴミ出し]



[玄関前の掃除]



[簡単な調理]



[短時間の子どもの預かり]



[子育ての相談]



[予防接種の付き添い]



[保育園・幼稚園の送迎]



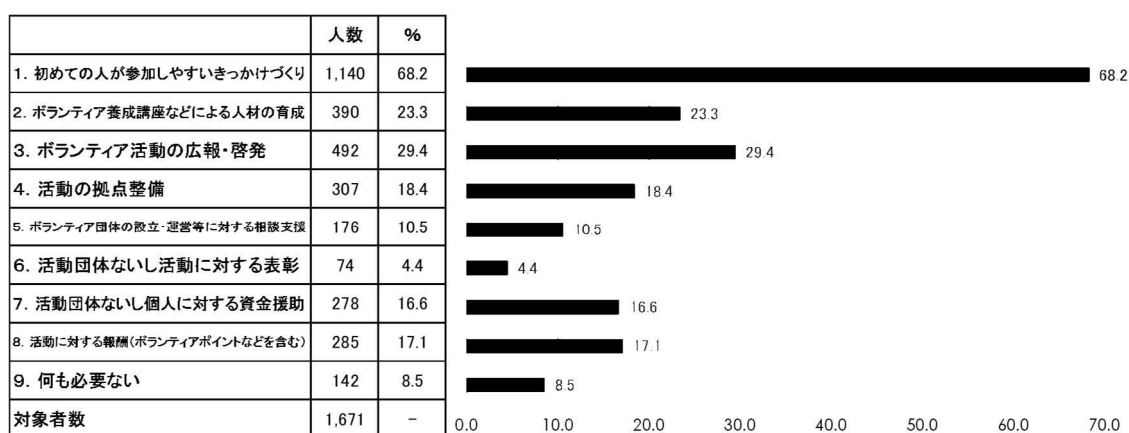
□その他地域で困っていること

- 話し相手
- カウンセリング
- かさばる買い物
- このようなアンケートや書類記入など
- コロナ禍で、住民が集まり活動する場が減り、活気が無くなった
- スーパー等で近所の人に会々と、帰りは車で送りましょうかと声掛けし、求められれば一緒する。
- ボランティア活動
- やってあげたいけれど仕事の都合で時間が取れないです
- よく見守ること
- 安否確認
- 一人暮らしの高齢者の家屋周辺の草刈りなど
- 何に困っているのかわからない。聞いても特にないといわれると気持ちが萎える。
- 家電製品の配線をしたり、パソコンの使い方を教えること。日曜大工が得意なので、ちょっとした修理など。
- 荷物運び
- 各公民館に車椅子を設けて下さい！
- 各人に差があり対応もさま様。出来ことは自分で何んでもかんでも無理と判断させる事が大切
- 学習支援
- 看護師なので出来る事
- 軽作業
- 現在健康状態が悪く、対応できないのが残念です。
- 現時点では困っている方はいないと思う
- 戸別廃品回収
- 行々は子供、高齢者が集れる施設を作りたい。どうしたらよいでしょう。
- 高齢で迷惑になるのでできない
- 今時点、近所つきあいをしたくない
- 佐々は高齢者が多いのにキケンな場所のハザードマップがパソコンのみしか見られない。パソコンで見れるお年寄りばかりではないので、徹底した調査しペーパーによる告知をお願いします。(水没、水害の写真が役場前だけでなく方々の写真を載せてください)
- 佐々町内における行政の在り方や議会での議論についての提言
- 災害時の避難支援
- 昨年退職したので今のところ手助けは必要なし
- 散歩に付き合う
- 仕事をしているため手助けしてあげることができない。
- 子育て中は難しいと思います。
- 支援希望があれば私にできる事なら何でもしたい。
- 耳が悪いので人の世話ができないと思います。
- 自分が出来ることであれば自分でやれるし、出来ないことであれば民生委員等に連絡して対処してもらう。
- 手助けできることがあったらしたいができない
- 手助けはしたいが迷惑がられた事がある
- 出来る事だったら何でも(出来ない事が多いです。)
- 職業柄運動の指導など可能
- 食事の差し入れ
- 食事作りをしてあげたい、定年後 20 年間ボランティアとして食事作りをしました
- 先方から相談があれば応じる。
- 洗車
- 洗濯干し、入浴介助(浴に出入り)
- 送迎や見守り
- 短時間でもよければ何かお手伝いしたい
- 町内の班長等高齢者の方は免除する制度を作る
- 通院、買い物の手助け
- 通学路が狭く、大型車の往来も多い
- 庭の草刈り、各種 DIY 家具の組み立てなど
- 庭木の手入れや草刈り、電球の取り替え
- 独居老人の買い物送迎
- 日ごろから地域住民の生活を把握しておきたい
- 日常の生活の中で行っている

- 認知症の方の見守り、手助けしたいけれど共働きの為なかなか難しい
 - 年配者は自分達が子育てしてきた時と同じイメージがあるように感じる。今の子育てが便利で不自由ないと思われている方もおられるので
 - 介護予防の情報と同じくらい、子育て、教育と同じように情報の発信をしてもらいたい。
 - 独居の高齢者の方で、入所レベルの方などの情報を隣近所などまわしてもらうと、若い世代の方でも声かけや、見守りなど気にとめる事ができると思うので、そういう小さい事から『介護』という言葉に馴染みのない方でも関われるような環境にする事が地域共生ではないかなと思います
 - 買い物
 - 買い物や通院付き添いはボランティアでできます。
 - 買物、清掃、病院への付添い
 - 買物などの簡単な手助け
 - 病気をしているので班の班長を任されるのがきつい
 - 不用品の寄付
 - 夫婦二人共歳を取り、町内会の役員、行事の参加は難しくなって来た 例(町内会班長の仕事、清掃)
 - 訪問カット出来ます 資格あります
 - 野良猫問題。それに限る！
 - 力仕事
 - 隣の木が延び過ぎて外灯のあかりがうちまで届かない
- その他手助けしてもらいたいこと
- 網戸が団地の部屋に付いていない。虫が多く、食事に入る。
 - 睡眠時間を確保したい
 - ぷくぷくのあいている日数が少ない。雨天時遊べる施設が佐々にも欲しい
 - ほぼ100%高齢者ばかりでむずかしい
 - ボランティアで手助けすべきではない
 - まだ自分で動けるのでわかりません。
 - よく見守る
 - 家の周りの草取り、庭の整備等
 - 家族全員がコロナ、インフルエンザにかかった時買い出し
 - 学童の時間を超過して子どもを預けられる場所
 - 現在では自分でなるべくしたい
 - 高齢者の一人暮らしに対して行政は積極的に安否確認の声かけが必要です
 - 佐世保の病院への車の送迎（往復で一万円かかり、病院代もかかるので）
 - 歳をとって体が不自由になったらいろいろあると思うが、今のところ特にない。
 - 散歩の付き添い
 - 子どもの見守り(核家族、共働きのため)
 - 自分のことで精一杯、他人様の事まで出来ないです
 - 車なしで、夜間体調崩して、放置される
 - 除草、庭木剪定
 - 世話になることは極力避けたい。
 - 生活道路の草刈り、そうじ、イノシシ対策を支援してほしい
 - 掃除
 - 草刈り、自分も手助けしたいが、身体が痛くて手伝えなくなった事が残念
 - 地域見守り隊みたいな人の存在がほしい。老夫婦の場合、妻が外泊や入院、外出先でどうしても連絡事項があるのに連絡がつかない時、自宅の様子を見てほしい
 - 町で福祉車両を貸し出ししてほしい。車イスなので介護タクシーを利用しているが、毎回高額で負担が大きい
 - 町内会の班長
 - 道が狭いので拡幅して欲しい。
 - 日中（家族が不在のとき）の災害時避難
 - 病院送迎
 - 頻繁に具合が悪くなるので、その時に助けて欲しい
 - 風呂掃除、家の掃除
 - 無償のボランティアは心苦しく受けたくない
 - 野良猫を処分してくれ。
 - 話を聞くこと

問 39 今後あなたが、地域の支え合いやボランティア活動に佐々町の地域福祉の取り組みに参加してみたいと思ったとき、町としては積極的にその後押しをしたいと思っています。下記のなかで皆さんの後押しになれるようなことがありますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

地域の支え合いやボランティア活動への参加を後押しする町の施策としては、初めての人が参加しやすいきっかけづくりを挙げる回答者が 7 割弱いる。次いで、ボランティア活動の広報・啓発（29.4％）、ボランティア養成講座などによる人材の育成（23.3％）、活動の拠点整備（18.4％）、活動に対する報酬（ボランティアポイントなどを含む）（17.1％）、活動団体ないし個人に対する資金援助（16.6％）を挙げる回答者が多い。



□その他

- 町は子育て支援に力を入れてありますが、子供食堂の必要性はないのでしょうか？
- ボランティア報酬の大幅増
- 佐々町で、どのようなボランティア活動が行われているか知らない。
- 常々、世の中の為に何か一つ役に立つ事がしたいと思っていてボランティアと気づきましたが最近、この年齢では無理かとあきらめています。
- 全町民及び新しい転入者に町内会に入会してもらおう義務化。
- ボランティア団体の横のつながりができること。
- 先ずは人間関係の構築。
- 子供たちと一緒に取り組めるようなもの
- カウンセリングステーションころね様。ささえいどう様を広報誌で紹介してほしいです。

□「何も必要ない」の理由

- あまり理解していない。
- 参加もあまりしていない。
- 自分がそもそも外に出れないので、あまり手伝う事が出来ないので申し訳ない。
- ボランティアに頼るのではなくて、それを就労の機会にしてほしい。

- まだ必要とは思わない為。
- 何も出来そうにない。
- 外出できる健康状態ではないから。
- 見返りはいらない。
- 現在、定職についているので忙しい日々を送っている。
- 交流が苦手だから。
- 考えた事がないし、今考えても見ても 思いつかない。
- 高齢で体に気をつける事が精一杯。
- 高齢のため現在以上のボランティア活動は無理。
- 高齢のため参加できない。
- 高齢者のため、自分のことでせいいっぱい。
- 今のところ自分で出来る。
- 今のところ必要ない。2世帯だから。
- 今の時点では何とか自分の事だけやれるから。
- 今の所自分自身で行動出来ます。
- 今は考えていないため、わからない。
- 今は仕事をしている為必要を感じていない。
- 今は子供の進学等で余裕がない。
- 今は時間がつくれない。
- 今は余裕がない
- 災害などが他の地域と比べて少ないと思うから。
- 参加したいと思ってない
- 参加できる余裕がない！
- 仕事が忙しいため。
- 仕事を止めたら何かしら活動したいのですが。
- 私には「興味、関心がないから」と思います。
- 自分が人の世話にならずに生活出来る様自立の為頑張っているのです。
- 実現しそうない。
- 手伝ってもらえばかりでできない。
- 助けてもらっている方である。
- 人と会いたくない。
- 体力的にも集中力も続かない。
- 特に必要なことが思い浮かばない。
- 年齢的に意欲をなくした。
- 必要ない為。
- 余裕なし。

問 40 あなたは、福祉や健康についてどんな情報を知りたいとお考えですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

福祉や健康について知りたい情報としては、高齢者に対するサービスの情報（介護保険含む）（52.7%）、福祉や健康についてのサービス利用方法などの情報（39.1%）、健康づくりについての情報（36.3%）、を挙げる回答者が多いが、いずれの選択肢項目も 15%以上の回答者が知りたい項目として挙げており、とくに無い（13.7%）とする回答者よりも多い。

